

地理総合 改訂版

世界に学び地域へつなぐ

改訂版

必修・地理総合の決定版！
生徒の興味を引き出す豊かな題材
基礎から大学入試まで対応

令和8年度用
(2026年度用)

山川出版社
内容解説資料

この資料は、令和8年度
用高等学校教科書の
内容解説資料として、一
般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」
に則っております。

特色・内容紹介 ➡ p.2-35

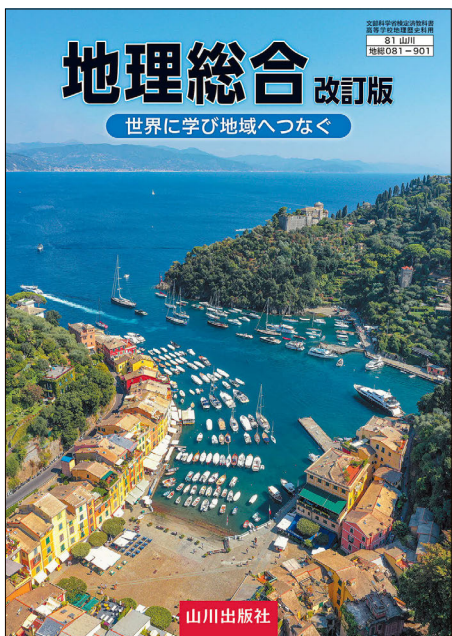
準拠版ワークブック ➡ p.36-37

教師用指導書
朱書き編・解説編 ➡ p.38-39

デジタル教科書
デジタルコンテンツ集 ➡ p.40-43

年間指導計画表
評価規準案 ➡ p.44-47

山川出版社



地理総合 改訂版

世界に学び地域へつなぐ

地総081-901 B5判・262頁

【代表者】

菊地俊夫 東京都立大学名誉教授

【著作者】

松山 洋 東京都立大学教授
 湯澤規子 法政大学教授
 飯塚 遼 帝京大学准教授
 田中隆志 群馬県立藤岡中央高等学校教諭
 中村洋介 公文国際学園中等部・高等部教頭
 栗山絵理 東京学芸大学附属高等学校教諭
 駒木伸比古 愛知大学教授
 矢部直人 東京都立大学教授
 矢ヶ崎太洋 兵庫県立大学准教授

秋本洋子 早稲田中学校・高等学校教諭
 伊東敦子 早稲田実業学校中等部・高等部教諭
 伊藤 恵 仙台育英学園高等学校教諭
 北崎幸之助 攻玉社中学校・高等学校教諭
 小林岳人 千葉県立幕張総合高等学校教諭
 時実香奈子 豊島岡女子学園高等学校教諭

株式会社 山川出版社

【編集協力者】

松井圭介 筑波大学教授
 新堀 毅 東京都立日比谷高等学校講師
 糸井剛志 京都府立洛北高等学校教諭
 清沢創一 長野県松本深志高等学校教諭
 佐藤ゆきの 早稲田実業学校中等部・高等部教諭

澤田俊一 千葉県立柏高等学校教諭
 長野 真 文化学園長野中学校高等学校教諭
 名倉一希 海城中学校高等学校教諭
 沼畑早苗 お茶の水女子大学附属高等学校教諭

- 図・表 411点
- 写真 569点
- 二次元コード 78点
- コラム 77テーマ
- Check 37箇所
- 地図帳参照 32箇所

Message

きくち としお
菊地 俊夫 (東京都立大学名誉教授)



地理総合では、地域の自然環境や歴史・文化環境や社会・経済環境を理解し、それらの環境条件を総合して考察して、個々の地域の性格を明らかにするとともに、地域を比較する方法も学びます。とりわけ、地域の生活文化に焦点をあて、対象となる生活文化の特徴が、自然環境や歴史・文化環境、および社会・経済環境から理解できるようになっています。そのため、本書は事例対象の選択や地域を総合的にみるユニークな視点、および地域を比較する体系的な方法や歴史の学びとの関連など多くの点で工夫されており、**教えやすく、学びやすい教科書**となっています。

そうはいうものの、地域の生活文化の性格は自然環境や経済環境など、一つの環境条件で短絡的に決まるものではないため、地域の生活文化の性格を複眼視して学ぶことは難しいといえます。しかし、その難しさゆえに、地理総合には面白さもあります。生徒は地理総合を通じて地域の自然環境や歴史・文化環境、社会・経済環境に対する理解を深め、それらをジグソーパズルのピースのように埋め込んで、地域の性格という絵を完成させていくことでしょう。そのような絵を完成させることこそが「地」の「理」を「学」ぶ本質であり、生徒にとっての地理総合のリアルな学びとなるでしょう。

ゆさわ のりこ
湯澤 規子 (法政大学教授)



2030年に設定されたSDGsの目標年に達した後、私たちはどのような世界を構想し、行動していくことになるのでしょうか。その一つに**SWGs (Sustainable Well-being Goals)**という考え方があります。Well-beingとは幸福や福祉、よりよく生きる世界を意味する言葉です。それを実現していくためには「他者」を理解し、交流し、尊重していくことが欠かせません。「他者」には人間はもちろん、自然環境や国や地域が含まれています。地理総合はまさに「他者」を理解し、よりよく生きる世界を構想する学びといってよく、国際化が進む今日において、その重要性は増していくことになるでしょう。

この教科書で掲げた「世界に学び地域へつなぐ」というメッセージには、豊富な情報やデータに触れながら世界について学ぶ生徒たちが、その学びを自分の生活や地域につなぐ「自分ごと」として「他者」と共に生きる実践的な力を育んでほしいという期待と願いを込めました。**Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、地域で行動する)**という実践は、地理総合の学びと深く関わっています。国や地域に展開する様々な要素が相互に関係し合っている世界が形成されていることを理解し、その一員として私たちが生きていくと実感できる地理学を、未来を展望する羅針盤にしていけたらと思います。

改訂ポイント

多様な世界の 今が伝わる 教科書

1

基礎から大学入試まで 最新情報が満載！

- 必修科目として必要な知識を、**バランスよく過不足なく**取り上げており、基礎から入試まで**教えやすく学びやすい**教科書になっています。
- 国際情勢の変化**や、気候変動、少子化の加速など**最新の統計**に、**GISの発達**に対応し、本文・図版を積極的に更新しました。

2

4視点でみる10地域 写真・題材を充実！

- 第3章「世界各地の生活文化」では、**世界10地域**を「自然」「社会」「経済」「開発」の**4視点**に分けて取り上げました。
- 気鋭の執筆陣**を新たに迎え、各事例地域の先頭見開きを中心に、**世界の衣食住や音楽など生活文化に関する鮮やかな写真・題材**を豊富に掲載しており、多様な生活文化に楽しく触れることができます。

3

思考力・判断力・表現力 を養う特設ページを強化！

- 見開きごとの学習事項を明確にし、自ら企画や調査などの探究活動を行う**特設ページ「アクティビティ」**と、学習の自己評価ができる**章末のまとめ**を新設しました。
- SDGs（持続可能な開発目標）**に対応した**特設ページ**を中心に、課題を見出し理想とする社会を構想するために必要な、**思考する力**を養います。
- 地理学習を進めていくのに必要な**地図・GISの技能**が段階的に習得でき、地図や統計を正しく解釈し、**判断する力・表現する力**を養います。

関連教材

ICT教材

- 『**教師用指導書 デジタルコンテンツ集**』には、教科書単元ごとの「授業用スライド」などのデジタルコンテンツを収録しており、授業をサポートいたします。➡**p.41**
- さらに、豊富な地理・歴史・公民のデジタルコンテンツを定額制でご利用できる**山川&二宮ICTライブラリ**をご用意しました。上記**デジタルコンテンツ集**とあわせてご活用いただくことで、ICT活用がさらに充実します。

準拠教材 ・副教材

地理総合改訂版ワークブック(地総081-901準拠)
データブック オブ・ザ・ワールド 2025
地理用語集 地理総合・地理探究共用
山川一問一答 地理

B 5判 定価700円(税込)

➡**p.36**

A 5判 定価803円(税込)

四六判 定価946円(税込)

四六判 定価946円(税込)

豊富 な題材 ある情報 鮮度 ある情報

地図・GIS

- 地図・GISの基礎的な技能を重視し、**アナログ地図とデジタル地図**の両方で学習ができるように配慮しました。
- 海洋・物流教育**に対応し、海底資源や水運に関する題材も取り上げました。

国際理解

※**自然・社会・経済・開発**から、それぞれ1事例を選んで学習

- それぞれの事例地域の先頭には、多様な自然環境・生活文化をビジュアルに大観できる**ギャラリーページ**を設けました。
- 自然から産業、文化、現状と課題**まで、体系的に学ぶ構成になっています。

国際協力

- SDGs（持続可能な開発目標）**に対応し、地球的課題が相互に影響し合っていることを学ぶコラム・特設ページを設けました。
- 最新の**写真・主題図・統計**などの題材から、課題の本質に鋭く迫ります。

防災・地域調査

- 地域により異なる**自然災害リスク**に対応し、さまざまな事例とハザードマップを取り上げ、**適切な防災のあり方**を考えさせます。
- 教科書で学んできた地図・GISの技能を活かして**地域の課題**に取り組み、**地図に表現し、解決方法を提案**する力を身につけます。

第1章 地図とGISの活用

導入 進化する「もう一つの地球」の描き方	12
1 球面上の世界	14
1 球面的思考で地球上の位置をとらえる	14
2 地図を利用して世界の時刻をとらえる	16
3 平面的な地図で世界をとらえる	18
2 地図とGIS	22
1 身のまわりの地図を集める	22
2 国土の基盤としての地理院地図の活用	24
3 GIS・GNSSのしくみと地理空間情報の活用	28 → p.22
アクティビティ① アニメの聖地マップを作ろう。	34
3 国家の領域と国際関係	36
1 国家の成り立ちとその領域	36
2 海洋国家としての日本の領域・周辺水域	38
3 日本の領域に関する問題	40
4 国と国との結びつきと国産協力	42
4 人・モノ・情報のつながり	44
1 狭くなる地球～交通の発達	44 → p.8
2 人のつながり～観光の発達	46
3 モノのつながり～貿易の発達	48
4 情報のつながり～通信の発達	50
第1章のまとめ	52

※章末「まとめ」の回答は、まとめページ上部の二次元コードより確認することができます。

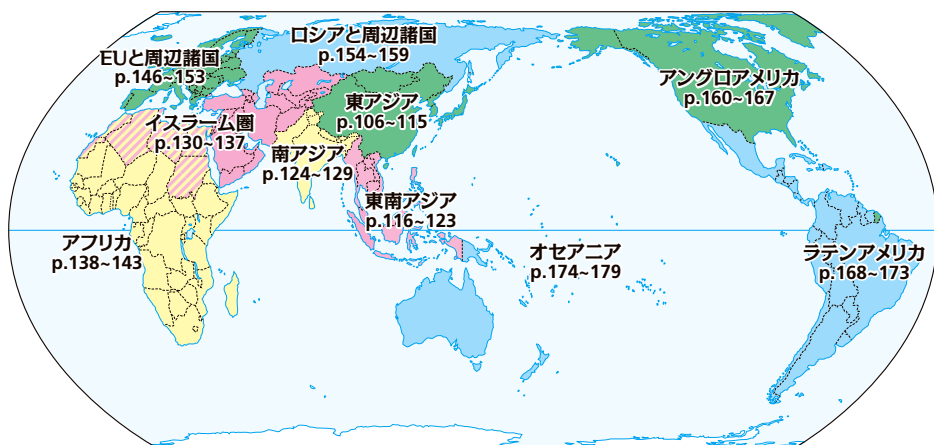
第2章 地理的環境の特色

導入 自然と人間が織りなすカラフルな世界	54
1 地形と生活文化	56
1 変動帯とプレート	56 → p.10
2 河川がつくる地形と生活	58
3 海岸の地形と生活	60
4 さまざまな環境で形成される地形と生活	62
2 気候と生活文化	68
1 大気の循環	68
2 気候の地域性	70
3 植生と気候区分	72
4 熱帯の自然環境と生活	76
5 乾燥帯の自然環境と生活	78
6 温帯の自然環境と生活	80
7 亜寒帯・寒帯の自然環境と生活	82
アクティビティ② 料理を通して生活文化について考えよう。	84 → p.26
3 産業と生活文化	86
1 農業と生活文化	86
2 農業の発展と生活文化の変化	88
3 工業の発展と生活文化	90
4 商業・サービス業の発展と生活文化	92
4 宗教・言語と生活文化	94
1 宗教の広がりや生活文化	94
2 言語の広がりや生活文化	96
3 生活文化の画一化と多様化	98
第2章のまとめ	100 → p.12

異文化理解を促す 多彩な地域事例

- 自然・社会・経済・開発のそれぞれについて、ふさわしい事例地域を取り上げ、全体として**世界諸地域をもれなく**掲載しています。
- 生徒の異文化理解を促すために、**歴史的背景や、現在の生活文化の多様性を重視**して構成しています。
- 激動する国際情勢の現状を反映し、**新しいトピックや統計資料、主題図**を豊富に取り入れ、記述を更新しました。

地理的環境	着目する事例	事例地域
自然	水の恵み	③ 南アジア
	多様な気候	⑤ アフリカ
社会	宗教の多様性	② 東南アジア
	イスラーム社会の多様性	④ イスラーム圏
経済	経済発展	① 東アジア
	経済統合	⑥ EU と周辺諸国
	グローバル化	⑧ アングロアメリカ
開発	寒冷な気候	⑦ ロシアと周辺諸国
	土地の開発	⑨ ラテンアメリカ
	植民・移民と開発	⑩ オセアニア



第3章 世界各地の生活文化

導入 水が育む人々の多様な生活文化 102

① 経済発展と生活文化の変化 ~東アジア... 106

- 1 経済発展を支える自然・農業と生活文化 108
- 2 市場経済化と生活文化の変化~中国 110
- 3 輸出による発展と生活文化の変化~韓国 112
- 4 経済発展による変化と課題 114

② 宗教の多様性と生活文化 ~東南アジア... 116

- 1 東南アジアの成り立ちと多様な民族 118
- 2 産業の発展と生活文化への影響 120
- 3 経済連携を通してつながる東南アジア ... 122

③ モンスーンの恵みと生活文化 ~南アジア 124 → p.14

- 1 モンスーンによる恵みと生活文化 126
- 2 経済発展と課題 128

④ イスラーム社会の多様性と生活文化 ~イスラーム圏... 130 → p.16

- 1 乾燥地域とイスラームの社会 132
- 2 経済発展とイスラームの社会の変化 134
- 3 イスラーム圏の現状と課題 136

⑤ 多様な自然の恵みと生活文化 ~アフリカ... 138

- 1 多様な気候と生活文化 140
- 2 経済成長と自然環境の変化による課題 ... 142

アクティビティ⑨ 旅行計画を立ててみよう。 144

⑥ 経済統合による生活文化の変化 ~EUと周辺諸国... 146

- 1 経済発展の礎となった自然環境と農業 ... 148
- 2 産業・交通の発達による一体化と生活文化 150 → p.18
- 3 統合の背景と課題 152

⑦ 寒冷地の開発と生活文化 ~ロシアと周辺諸国... 154

- 1 寒冷な大地の生活と産業開発 156
- 2 寒冷地の開発による成長と課題 158

⑧ グローバル化による生活文化の変化 ~アングロアメリカ... 160

- 1 経済発展の基盤となった社会の多様性 162
- 2 大規模な農業とグローバルな食文化 164
- 3 グローバル化による変化と課題 166

⑨ 土地の開発による生活文化の形成 ~ラテンアメリカ... 168

- 1 開発による農牧業の発展と生活文化 170
- 2 開発による発展と社会にみられる課題 ... 172 → p.20

⑩ 植民と移民による生活文化の形成 ~オセアニア... 174

- 1 植民による開発と生活文化 176
- 2 移民と多文化社会にみられる課題 178 → p.21

第3章のまとめ 180

主体的な学習を促す紙面構成

- 見開きごとに「**学習のテーマ**」「**まとめと考察**」を設け、学習事項を明確化しました。

 **学習のテーマ** 見開きで学ぶことについて、着目点を示した導入文です。

 **まとめと考察** 見開きで学んだことの定着をはかり、考察を促します。

- 好奇心や探究心を育む「**豆知識**」「**情報源**」をそれぞれ**79点**掲載しました。

 **豆知識** 見開きで学ぶことに関連したトリビアや、関連する知識を載せています。

 **情報源** 学んだことに基づき、さらに自ら調べて探究する際に役立つ情報源です。

- 思考・判断を促すような「**Check**」「**地図帳**」を、学習のテーマに沿って**計69箇所**、効果的に配置しました。

強化!  図表の読み取りの指示や、本文と関連した簡単な作業例を示しています。**(37箇所)**

新設!  本文と関連した、地図帳の一般図などの参照例を示しています。**(32箇所)**

- 章ごとに「**アクティビティ**」「**章のまとめ**」を設け、表現力を高める主体的な学習、学習の自己評価に対応しました。

強化!  各章の学習内容と関連して、自ら資料を収集・整理して作品を作り上げる活動を行う、アクティブなページです。

新設! **第1章のまとめ** 章で学んだ知識や技能を整理するとともに、思考力・判断力・表現力を試し、自己評価を行うページです。

第4章 地球的課題と国際協力

導入 相互に関連する地球的課題 ～SDGs～ 182

① **地球環境問題** 184

1 さまざまな地球環境問題 184

2 減少する熱帯林と進行する砂漠化 186

SDGsと未来社会①

気温上昇を1.5℃に抑えられる社会 188

② **資源・エネルギー問題** 190

1 多様な資源とその課題 190

2 エネルギー資源の変化と課題 192

SDGsと未来社会②

資源やエネルギーが循環する社会 194

③ **人口問題** 196

1 人口と人口問題 196

2 世界各地の人口問題とその対策 198

④ **食料問題** 200

1 二つの食料問題とその背景 200 **→p.28**

2 食料問題に対する様々な取り組み 202

SDGsと未来社会③

安全で多様なトイレを利用できる社会 204 **→p.30**

⑤ **居住・都市問題** 206

1 都市の成立と発展 206

2 都市への人口集中と問題 208

3 都市の成熟と再開発 210

SDGsと未来社会④

移民・難民と地域が共生する社会 212

第4章のまとめ 214

第5章 生活圏の諸課題

① **日本の自然環境と防災** 216

世界地図でとらえる自然災害のリスク 216

1 世界からみた日本の地形の特色 218 **→p.32**

2 世界からみた日本の気候の特色 220

3 地震・津波と防災 222

4 火山の噴火と防災 224

5 風水害と防災 226

6 都市型災害への備え 234

7 地域防災と復興 236

アクティビティ①

身近な地域の災害リスクに備えよう。 238

② **生活圏の諸課題と地域調査** 240

地理の力で地域の魅力発見や

課題解決にチャレンジしよう 240

1 スケールを変えて見る地域の特徴と課題 242

2 地域調査① パーチャルとリアルでの景観観察 244 **→p.34**

3 地域調査② 現地での聞き取り調査とまとめ 246

アクティビティ②

地域調査の結果を発信しよう。 248

SDGsと未来社会



SDGsに関連し、課題を解決する持続可能な未来社会の実現を目指した取り組みを紹介するページです。

生徒の興味・関心を引くコラム



より深く、楽しく地理を学習するための
トピックを集めたコラムです。(27テーマ)

新型コロナウイルス感染症の地図	23
町の中に国境線?	37
国際都市ルクセンブルク	43
世界最長の鉄道トンネル (→ p.9)	45
オリエンタリングと観光	47
ライブ配信の普及と課題	51
熱帯低気圧	77
アラル海の悲劇	79
東アジアを結ぶ照葉樹林文化	81
高山地域の暮らし	83
SDGsを担うPBFとは?	89
商店街活性化の鍵は「黒」?	93
中国・朝鮮半島の食文化と香辛料	109
北朝鮮の現状	113

ロヒンギャ難民	119
インドネシアのハラール調味料	121
インドのベジタリアン	127
イランのバザール	133
ドバイの発展	135
自然環境と対応した多様なアフリカの主食	141
アフリカの奇跡・ルワンダ	142
アムステルダムのオーバーツーリズム (→ p.19)	151
ポーランドショップの今	153
アーミッシュの暮らし	163
天国に一番近い島の行方	177
ひろがる「こども食堂」の輪	203
都市問題のつながりを考える	209



地理を学習し、課題に関する資料をまとめるために
必要な技能を、段階を追って身につけます。(37テーマ)

① 世界各地の現地時刻を計算してみよう	17
② デジタル地球儀を操作してみよう	20
③ ウェブ地図の基本操作を体験しよう	(→ p.23) 21
④ 地理院地図と地形図の見方	(→ p.24) 26
⑤ さまざまな主題図・グラフの表現	30
⑥ GISで主題図を作り考察しよう	32
⑦ 地理院地図・地形図の読図① 海岸段丘	64
⑧ 地理院地図・地形図の読図② 扇状地	65
⑨ 地理院地図・地形図の読図③ 自然堤防	66

⑩ 外国地形図の読図 氷河地形	67
⑪ ケッペンの気候区分を判定してみよう	74
⑫ 雨温図とハイサーグラフを描いてみよう	75
⑬ デジタル地球儀を国際理解に活用する	104
⑭ 人口ピラミッドを読み解く	197
⑮ 地震・津波ハザードマップを読み解く	228
⑯ 噴火ハザードマップを読み解く (→ p.33)	230
⑰ 新旧地形図の比較から水害を考える	232



世界の各地域と日本の、産業や
生活文化のつながりを紹介する
コラムです。(10テーマ)



自然災害と向き合い、様々な工夫を
してきた先人たちの歴史的な取り組み
を紹介するコラムです。(3テーマ)

台湾と日本の交流	115
日本で働くベトナム出身の技能実習生	123
JICA海外協力隊によるネパールでの心の教育	129
学食でひろがるハラールフード	137
おしゃれなサプールと日本人デザイナー	143
ヨーロッパでブームの日本酒	153
イクラでわかる日本とロシアのつながり	159
カナダの食文化として人気の「スシビザ」	167
日本からブラジルへの移民と「日本祭」	173
オーストラリアの「米の父」 (→ p.21)	179

自然災害伝承碑	223
天地返し	225
輪中と水屋	227

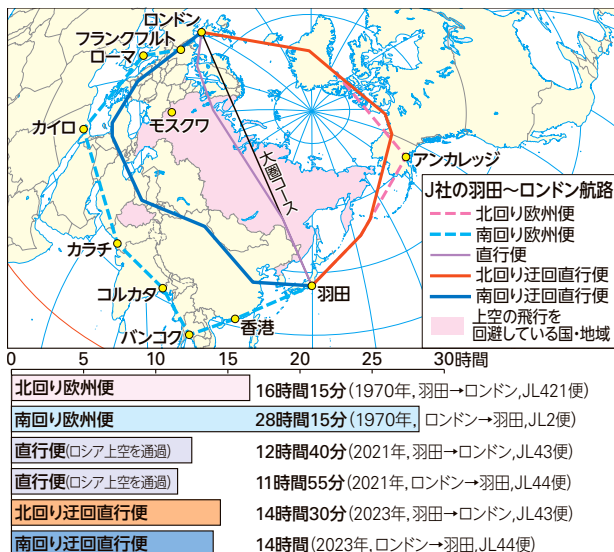
→ 次のページからの
教科書紙面見本を
ぜひご覧ください。

交通・観光・貿易・情報などにおいて人・モノ・情報のつながりはどのようなになっているのだろうか？

ポイント① 基礎から 大学入試まで



↑① 巨大ハブ空港（ロンドン・ヒースロー国際空港、2019年7月撮影）



[出所：JAL資料ほか]

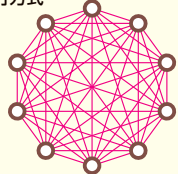
↑② 東京・ロンドン間の航路の変化

最新の国際情勢を踏まえて、
記述や内容をアップデートしました。

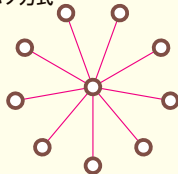
←③ 直行方式とハブ方式

利用者にとっては、近くの空港から目的地に直行便があると便利だが、大手の航空会社にとっては、ハブ空港に直行便を集約した方が効率が良い。

●直行方式



●ハブ方式



[出所：PRESIDENT 2009年11月30日号]

1 狭くなる地球～交通の発達

🔍 学習のテーマ

世界や地域を結ぶ交通手段はどのように変化し、何をもちょうか。航空交通や高速鉄道を学び、学んでいこう。

世界を結ぶ 航空交通

航空交通は世界の時間距離①を大幅に短縮し(図②)、観光やビジネスによる人の移動や、電子機器、

学習に必要な知識を過不足なく掲載

地理探究や大学共通共通テストに対応できるように、系統分野で必要な基礎知識を過不足なく掲載しました。

貨物の輸送に大きな威力を発揮して、2010年代後半以降は、大量輸送の効率化が求められる。地域や地域のハブ空港(写真①)に集中させ、そこから地方空港に分散させるハブアンドスポークという輸送方式への切り替えが進んだ(図③)。現在日本と世界を結ぶ航空路線網は、羽田や成田などのハブ空港を拠点に、世界各地へと広がってネットワークが形成されている。

① 時間距離

二つの地点間のへだたりを、移動に要する時間によって表した指標。

② LCC(格安航空会社)

機内サービスを簡素化するなど、効率化によって格安な運賃で運航している航空会社。LCCは、ハブ化した大手航空会社の利用空港と競合しない、駐機料も安価な地方空港発着の路線も活用している。

せ、そこから地方空港に分散させるハブアンドスポークという輸送方式への切り替えが進んだ(図③)。現在日本と世界を結ぶ航空路線網は、羽田や成田などのハブ空港を拠点に、世界各地へと広がってネットワークが形成されている。

旅客輸送の分野では、従来の機内サービスを簡素化することなどで運賃を安くしたLCC(格安航空会社)②が急速にシェアを伸ばした。その割合は世界全体で3割をこえ、東南アジアなど経済成長が続く地域で急速に旅客数を増やしている。



超音速旅客機・コンコルドはなぜ消えた？ ロンドン～ニューヨークを2時間台で結んだコンコルドは、燃費の高さや維持費の高さなどから2003年に退役した。

地形の違いはどこから生まれ、人々の暮らしとどのようにつながっているのだろうか？

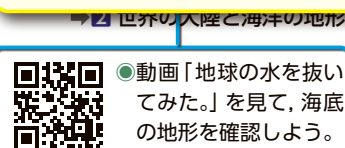


↑1 スイス中央部のルツェルン湖
(2016年8月撮影)

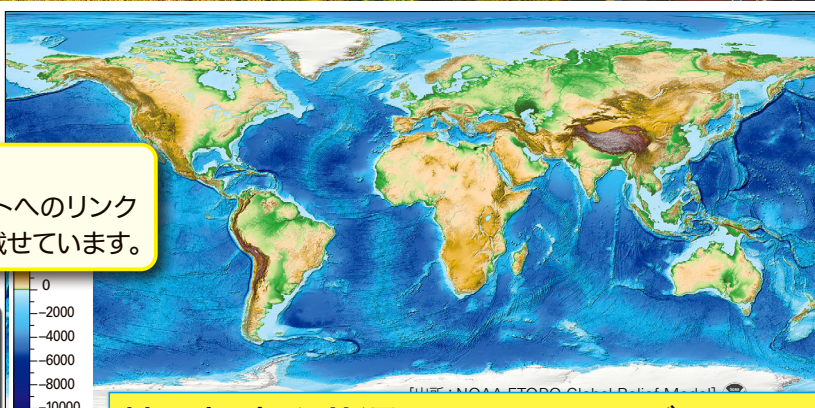
写真のような自然景観は、どのような外的営力と内的営力を受けて形成されているのだろうか？

二次元コード (計79箇所)

動画や写真、関連ウェブサイトへのリンクや、資料のダウンロード先を載せています。



●動画「地球の水を抜いてみた。」を見て、海底の地形を確認しよう。



地理探究や共通テストにつながる
基礎的な知識が、無理なく身につきます。

1 変動帯とプレート

学習のテーマ

地球には陸地にも海底にも凹凸があり、さまざまな地形が形成されている。なぜそのような地形が生まれたのか、世界の地形やプレート分布を俯瞰し、学んでいこう。

学習のテーマ

見開きで学ぶことについて、着目点を示した導入文です。

① 変動帯

現在、地殻変動や火山活動が活発な帯状の地域をいう。

地形をつくる力

写真1のような風光明媚な景観を特徴づける地形は、
内的営力と外的営力によって形成される。

内的営力は地球内部の熱エネルギーによる力で、土地を隆起、沈降、移動させたり、火山活動をおこしたりする。図2から世界全体の地形をみると、大陸部には標高の高い山脈が分布し、海洋には海溝や海嶺がみられる。そのような地形は内的営力の影響を大きく受けており、内的営力が強く作用する一帯を変動帯①とよぶ。変動帯では、地殻変動や地震、火山の噴火が活発にみられる。

外的営力は太陽エネルギーや地球の重力を源にした力で、川や海などの水の流成された地形をして、長い時間

豆知識 (計79箇所)

見開きで学習することと関連した、気づきを得られる楽しいトリビアや、補足情報を載せています。



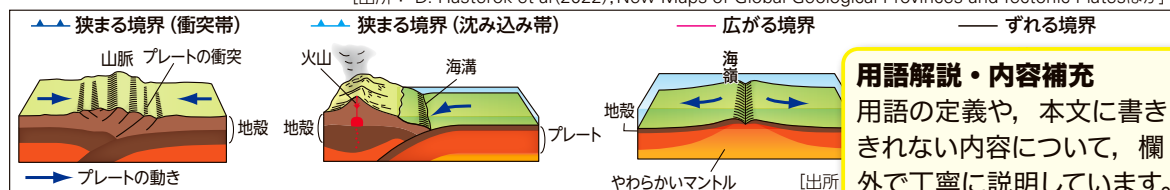
日本列島は標高1万mの山？ 富士山は3,776m。ほかにも3,000mを超える山脈もある。これを水深約8,000mの日本海溝の底からみると、高さ1万mを超える大山脈となる。



最新のGISデータで更新

プレート地図や気候区分図などは、GISのデータを活用して最新のものに更新しました。

[出所：D. Hasterok et al(2022), New Maps of Global Geological Provinces and Tectonic Platesほか]



↑3 世界のプレート分布とプレート境界の型

用語解説・内容補充

用語の定義や、本文に書ききれない内容について、欄外で丁寧に説明しています。

プレートテクトニクス

地球の表面は、プレート^②とよばれる厚さ数十～100kmの岩盤に覆われていて、大きくは十数枚のプレートに分かれている(図3)。それぞれのプレートは内的営力によって動き、衝突したり離れたりすることによって大規模な地形が生まれる。こうした考え方をプレートテクトニクスという。

プレートの境界は、四つの型に分けられる。二つのプレートが近づくところを狭まる境界といい、プレート同士がぶつかりあう衝突帯では、大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込むことで海溝が形成され、地震も多く発生する。沈み込んだ海洋プレートの上部では一部の岩石が溶けてマグマが生じる。

二つのプレートが離れるところを広がる境界といい、プレート同士が引き離れあう場合、中央海嶺からマグマが上昇し、新しい岩石帯ができる。二つのプレートが互に行き交う境界はずれる境界と

地図帳マーク(計32箇所)

学習内容の全体像が理解しやすくなるような、地図帳の活用方法を具体的に示しています。

まとめと考察

2つの問いにより、見開きで学んだことの定着をはかり、探究を促します。

情報源(計79箇所)

自ら調べて学習する手がかりとなる、良質な資料や情報が得られるウェブサイトや資料を紹介しています。

情報源 今日はどこで地震が発生している？ アメリカの地質調査所(USGS)の「Latest earthquakes」では、過去24時間のマグニチュード2.5以上の震源を地図上で確認することができる。

② プレート

プレートは海洋プレートと大陸プレートに大別される。海洋プレートは大陸プレートに比べて比重が大きいため、両プレートが衝突すると、海洋プレートが沈み込み、海溝が生まれる。大陸プレート同士が衝突した場合は沈み込みが小さい。



プレート境界にはどのような地形がみられるか、図3と地図帳の一般図を対比させ、確認してみよう。

まとめと考察

まとめ 地震や火山が多いのはどのような場所であるのか、まとめてみよう。

考察 起伏のある山地や火山の周辺の暮らしにはどのような恵みがあるか、考えてみよう。

知識

次の文章中の空欄に用語を入れて、第2章で学んだことを整理しよう。

① 地形と生活文化

- 地形は、地球内部の熱エネルギーによる(① _____)と、太陽エネルギーや地球の重力を源にした(② _____)によって形成される。(①)が強くはたらく地帯を(③ _____)といい、地震や火山の活動が活発である。(②)が強くはたらく地帯では地形の(④ _____)が活発である。地球の表面は、(⑤ _____)とよばれる岩盤から構成される。
- 河川上流の山地には(⑥ _____谷)があり、下流に進み平野に出ると礫や砂が扇状に堆積した(⑦ _____)、洪水時にあふれた砂や泥が堆積した(⑧ _____)、河口には細かい砂や泥が堆積した(⑨ _____)が形成されている。海岸部では、気候変動により海面が低下して陸地になる(⑩ _____)や、海面上昇で陸地が沈む(⑪ _____)により、さまざまな地形が形成され、それぞれの自然環境に合わせた生活がみられる。

知識：穴埋め問題

章で学んだ重要用語の定着をはかることができます。

② 気候と生活文化

- 1年周期で繰り返される大気の平均的な状態を(⑫ _____)といい、大気の状態が安定した地域では降水量が多くなり、(⑬ _____)気流が生じる地域では降水量が少なくなる。大気の循環が南北方向に移動すると、雨季や乾季のような(⑭ _____)による気候の変化が生み出される。
- 海洋では、(⑮ _____)が熱を運ぶことにより、気候に影響を与える。暖流が流れる沿岸地域は温暖になり、(⑯ _____)気流が発生しやすく降水量が多くなる。寒流が流れる沿岸地域では(⑰ _____)気流が発生しにくく乾燥し、(⑱ _____)が形成される。
- 植生は、樹木を主体とした(⑲ _____)と、草を主体とした(⑳ _____)、植物がまばらな(㉑ _____)(砂漠)に分けられる。植生の分布に着目した(㉒ _____)の気候区分により、世界の気候を気温と降水量で区分できる。

③ 産業と生活文化

- 農牧業には、主に家族によって生産し消費する(㉓ _____)農業と、販売を目的とする(㉔ _____)農業がある。(㉔)のなかには機械化された大規模な(㉕ _____)農業に発展することもある。世界の主食には米、(㉖ _____)、(㉗ _____)、じゃがいもなどがあり、自然条件に適したものが栽培されている。
- 鉱工業は、手工業から機械工業への(㉘ _____)を経て急速な発展を遂げた。(㉙ _____)が発達した先進国では1人当たりの工業付加価値額が高い。付加価値の低い工業は賃金の安い発展途上国に移動し、産業の(㉚ _____)が生じた。
- (㉛ _____)(車社会化)や都市圏の拡大により、ショッピングセンターやコンビニエンスストアが増え、個人商店や商店街は衰退している。また、インターネットの普及により、(㉜ _____)による通信販売が広まった。

④ 宗教・言語と生活文化

- 世界宗教には、信者数が最も多い(㉝ _____)、聖地メッカを中心に広がる(㉞ _____)、インドに起源をもち日本にも伝来した(㉟ _____)があり、生活文化に大きな影響を与えている。意思を相手に伝える手段である言語の分布は国境とは一致しないため、各国では憲法や法律によってそれぞれ(㊱ _____)が定められている。

技能

下の図に着色し、線を記入して主題図を完成させよう。



- 凡例にもとづいて植生の違いを着色しよう。
■ (緑色) 常緑広葉樹林(照葉樹林)
■ (オレンジ色) 落葉広葉樹林・混合林
- 7月と1月の季節風(モンスーン)の風向を矢印で描き込もう。
- 1,000mmの等降水量線を青色でなぞってみよう。

技能：作業問題

章の中でもポイントとなる事項について、作業問題を設けました。

- ◀ 1 東アジアにおける常緑広葉樹林(照葉樹林)と落葉広葉樹林・混合林の分布

章末には、知識・技能、思考力・判断力・表現力の定着を確認できる「章のまとめ」ページを用意しました。



○解答を見

ポイント①

基礎から大学入試まで

思考力・判断力・表現力
【フォトランゲージ】

自然環境に適応するための生活の工夫について、①～④から写真を選び、読み取れることを文章で表現し、その背景について意見交換しよう。

① なぜ、スペインの人々は屋外で談笑する？



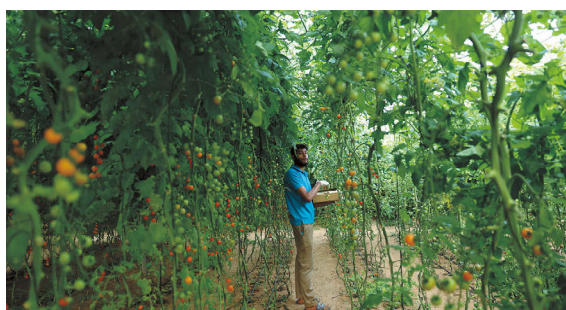
↑② スペイン・屋外で談笑する風習「アルフレスコ」
(アンダルシア州アルガール, 2021年8月撮影)

② なぜ、イランの人々はこたつで果物を食べる？



↑③ イランのこたつ「コルシ」
(ゴナーバード, 2018年12月撮影)

③ なぜ、砂漠でトマトを育てている？



↑④ アラブ首長国連邦・トマトのハウス栽培
(シャルジャ, 2023年4月撮影)

④ なぜ、牛を引き連れて移動する？



↑⑤ ドイツ・移牧祭りで伝統衣装を身につける人々
(バイエルン州オーバーストドルフ, 2018年9月撮影)

選んだ写真()

自然的要素	思考力・判断力・表現力：アクティブラーニング問題 主題図の読み解き、フォトランゲージ、資料の読み解き、関係構造図の作成のように、生徒が主体的に学習できる問いを設定しました。
文化的要素	
問いかけに対する答え	

主体的に学習に取り組む態度

第2章の学習への取り組みについて、自己評価してみよう。

項目	④：最高に素晴らしい！	③：とても良い！	②：ここはクリアしよう	①：もう一步！
深い学びに取り組む姿勢	地理的環境の学習を通じて、教科書にある事例の理解に留まらず、教科書についても調べる。	地理的環境について、白地図を用いて学習の成果をまとめる。	地理的環境について、自ら学習をすることで、教科書にある事例の理解に留まらず、教科書についても調べる。	地理的環境について、授業を受けるだけに留まった。
対話的学びに取り組む姿勢	地理的環境の理解を深めるだけでなく、課題について考えて、根拠にもとづいて自分の意見を構築できた。	地理的環境について、他者と情報交換しながら考察できた。	地理的環境について、自ら学習をすることで、教科書にある事例の理解に留まらず、教科書についても調べる。	地理的環境について、授業を受けるだけに留まった。

学習への取り組みの自己評価

章での深い学び・対話的学びへの取り組みについて、自己評価できる欄を設けました。



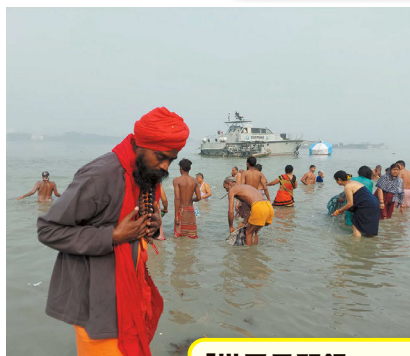
ポイント② 4つの視点で 10地域

「南アジア」「アフリカ」を
「自然」の視点から取り上げました。



二次元コード

Google Earthとリンクされており、
写真の事例地域を俯瞰できます。



↑① ガンジス川上流のハリドワール
(2023年7月撮影) 「神々の門」とい
う意味の聖地で、聖なる山々と俗世で
ある平野との境界にあたる。

◀② ガンジス川中流のヴァラナシ
(2023年5月撮影) ガンジス川中流
にある宗教都市で、ガートと呼ばれる
沐浴場がある。沐浴を行うと、すべての
罪が洗い流されるといわれる。

◀③ ガンジス川河口のガンガーサ
ガル(2023年1月撮影) ガンジス

最下流にあ
るサンクラ
と呼ばれる。

世界見聞録

インド・ガンジス川



ヒンドゥー教の聖地を訪ねる旅を
しました。ガンジス川沿いの各地に聖
地があり、多くの巡礼者が訪れていま
した。ガンジス川は、人々にどのよう
な恵みをもたらしているのでしょうか？

「世界見聞録」

各地域を学習する視点に基づいて選ん
だ臨場感あふれる写真により、旅する気
分で異文化への関心を引き出します。



[出所: Ganges Strategic Basin Assessment]

↑④ ガンジス川の流域地図

いくつもの支流をもつガンジス川の流域面積は86万
平方km、日本の面積の約2.3倍もある。

調べてみよう

- ① 地図帳で、三つの聖地の位置を確認しよう。
- ② 統計資料から、インドの宗教人口比率を調べてみよう。
- ③ 三つの聖地に人が集まる理由を調べてみよう。



「東南アジア」「イスラーム圏」を
「社会」の視点から取り上げました。



↑1 カアバへの巡礼（2023年7月撮影）メッカへの巡礼者は、中央の聖殿・カアバの周囲を反時計回りに、祈りながら7周する。

⇐② ハラマイン高速鉄道（2023年8月撮影）イスラームの聖地・メディナとメッカは高速鉄道により結ばれており、国外からの巡礼者は、ハブ空港のあるジッダから聖地に向かう。

⇐③ ハラマイン高速鉄道の女性運転士（2023年1月撮影）30人以上の女性が運転士として採用されている。

世界見聞録

サウジアラビア・メッカ



サウジアラビアは、2019年に観光ビザが解禁されたばかり。聖地メッカは、今もムスリム以外は入ることができません。ムスリムにとって、聖地とはどのような存在なのでしょう？

調べてみよう

- ① メッカへの鉄道以外の交通手段について、調べてみよう。
- ② 今年の巡礼月（イスラーム暦12月）は西暦では何月だろうか。
- ③ メッカ以外のイスラームの聖地について、調べてみよう。



↑4 イスラームの聖地とサウジアラビアの鉄道網

ハラマイン高速鉄道は、スペインの技術を導入して2018年に完成した。

ところかわれば

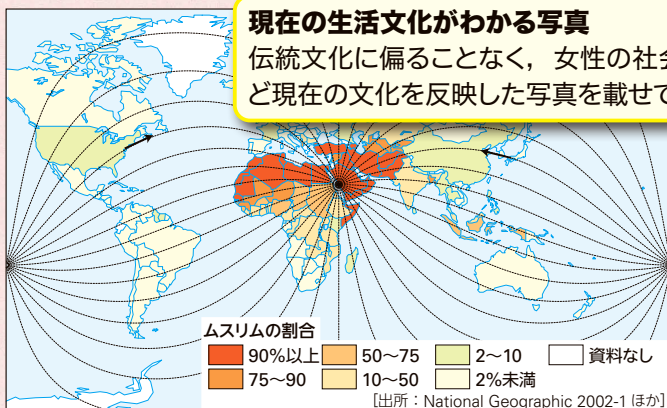
イスラーム社会の多様性



アフリカから東南アジアにかけて広く、ムスリムと呼ばれる人々が暮らしています。各地の人々の服装を見ると、白や黒の色であったり、カラフルであったり様々です。なぜそのような違いがあるのでしょうか？

現在の生活文化がわかる写真

伝統文化に偏ることなく、女性の社会進出など現在の文化を反映した写真を載せています。



↑5 ムスリムの割合とメッカの方向 ムスリムはメッカに向かって祈りを捧げる。地図中の曲線は、曲線上の地点からのメッカの方角を示している。



↑7 イラク・モスクで祈る人々(パスラ、イスラームでは金曜日が休息日になっていく。祈られるモスクに集まり、メッカに向か

宗教の多様性

「東南アジア」では宗教の違いによる祭りの多様性、「イスラーム圏」では地域の違いによるムスリムの多様性に注目しています。



↑9 モロッコ・マラケシの旧市街(2018年11月10日撮影) モロッコの人々は、男性も女性もジュラバというロング丈の民族衣装を身につけている。ジュラバには多様な色のものがある。



↑6 ガフスタン・イスラーム女性のファッションショー(アルマトウイ、2023年5月6日撮影) 伝統的なイスラーム女性の衣文化と現代的な衣文化の融合を試みたイベントで、来客のファッションも多様なものになっている。



↑8 イラン・ヒジャブを身にまとった女性(イスファハーン、2023年4月22日撮影) 黒いヒジャブを着たシーア派の女性が、モスクの敷き、断食明け



↑10 オマーン・伝統的な帽子を被った男性(マスカット、2022年4月12日撮影) オマーン人男性は、クマという独特の丸い帽子を被る。海洋帝国時代にアフリカのザンジバル島から伝わった。

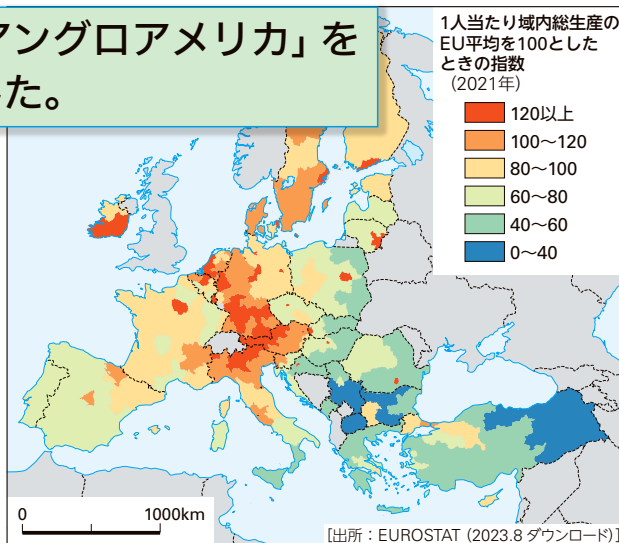
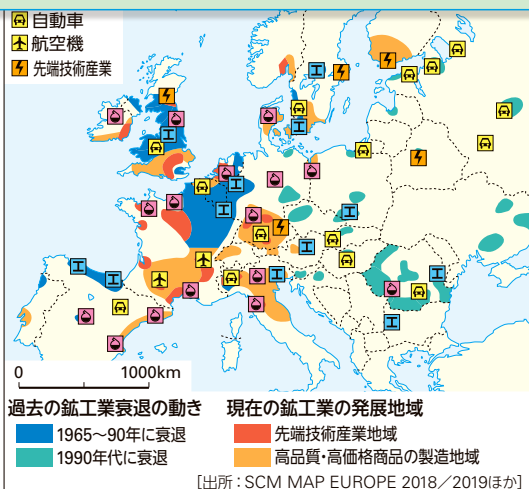
考えてみよう

- ① 日本(自分の学校)で礼拝を行う場合、メッカはどの方角になるだろうか？
- ② 写真の男女の衣服が、長袖でゆったりとした特徴をもつのはなぜだろうか？
- ③ 女性が肌や髪を隠す程度や、衣服の色に違いがあるのはなぜだろうか？



●写真1～写真10を拡大表示してみよう。

「東アジア」「EUと周辺諸国」「アングロアメリカ」を「経済」の視点から取り上げました。



↑2 EUと加盟候補国の地域別1人当たり域内総生産
西ヨーロッパの、特に経済が発展している地域をつなぐと、パナ

↑1 ヨーロッパの工業地域 東ヨーロッパが衰退した一方で、西ヨーロッパから先端技術高付加価値産業が広がりをみせている。

主題図・写真・本文の連携

世界経済を牽引する中国、EU、アメリカを中心に、経済統合、グローバル化、技術革新による変化を、主題図・写真本文を適切に組み合わせて、歴史的な背景とともに紹介しています。

2 産業・交通の発達

学習のテーマ

産業や交通の発達による一体化は、人々の暮らしにどのような影響を与えているのだろうか。産業や交通の変化に着目しながら学んでいこう。

図1・図2と地図帳のヨーロッパの一般図を比較してみよう。



↑3 ドイツの半導体工場 (ザクセン州ドレスデン、2023年10月撮影) 1990年代後半から半導体企業が集積し、「シリコンサクソニー」と呼ばれるようになった。

① サードイタリアー

工業の近代化が進んだイタリアの北西部や、農業が盛んな南部に対し、職人による伝統工業が盛んな中部・北東部をさす。

工業地域の発達と変化

18世紀の後半にイギリスの繊維工業から始まった産業革命が鉄鋼業や機械工業などの重工業にも波及し、ヨーロッパは世界で最も豊かな地域になった。原料となる石炭や鉄鉱石の産地には工業都市が生まれ、それらの集積地域はドイツのルール地方やベルギーのマース川沿岸などの工業地帯となった。20世紀に入り、多くの資源が枯渇し輸入に切り替わると、フランスのダンケルクなど臨海部に工業地帯が形成された(図1)。

しかし、二度の世界大戦を経てヨーロッパの経済的地位は相対的に低下した。戦後は工業の刷新が図られ、半導体や電子機器、医薬品、航空宇宙産業などの先端技術産業が、国際分業体制のもとで発展している(写真3)。一方で、熟練技術者による伝統工業も残り、

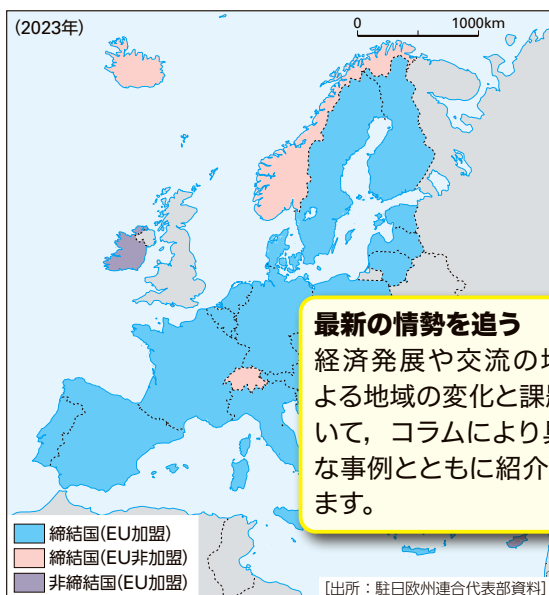
新規の写真を豊富に掲載

AI時代に注目されるシリコンサクソニー、ロゴが変わったユーロスターなど、最新事情を反映した写真を選択・掲載しています。

ドイツの主要都市では第三次産業が大きく成長した。イギリス南部からイタリア北部のブルーバナナとよばれるEUの中心地域では、多国籍企業が本社を置き、1人当たりの域内総生産も高い(図2)。一方、比較的賃金の安い東ヨーロッパには工場やコールセンターなどが移転し、新たな雇用を生み出している。



無料の公共交通機関? ヨーロッパでは公共交通機関の利用を促すために運賃を無料化する例が増えており、ルクセンブルクでは鉄道、バス、トラムに誰でも無料で乗ることができる。



最新の情勢を追う

経済発展や交流の増加による地域の変化と課題について、コラムにより具体的な事例とともに紹介しています。

↑4 シェンゲン協定締結国

EU加盟国のなかに、シェンゲン協定を締結していない国がある理由を考えてみよう。



アムステルダムのオーバーツーリズム



↑5 観光客で混雑する中心街

(オランダ・アムステルダム、2023年12月撮影)

オランダは、自由と寛容の国といわれる。運河やレンガの建物などが人気の首都アムステルダム（写真5）には、観光客が殺到するようになった。しかし、夜間の迷惑行為や民泊の増加による住宅価格の高騰などオーバーツーリズムが問題となっている。そのため、民泊を登録制としたり、観光客数を抑制するキャンペーンを打ったりする対策をとっている。

移動の自由化と交通網の発達

27か国が加盟するシェンゲン協定（図4）により国境検査の多くが廃止され、ヨーロッパでは

人々の往来は大幅に自由化された。高速道路や、フランスのTGVやドイツのICEなどの高速鉄道は、国境を越えてヨーロッパをつ

ないでいる。英仏海峡トンネルを走るユーロスターはロンドンとパリを2時間15分で結ぶ（写真6）。また、フランクフルト、アムステルダム、パリなど各地にハブ空港が整備され、航空交通の利用者も増加している。一方で環境への配慮から短距離航空路線を廃止して

鉄道で代替したり、中心市街地の渋滞を緩和するためにパークアンドライドを設けたりする動きもある。こうしたインターモーダル^②な交通利用は、市民の日常生活にも変化をもたらしている。

国境を越える観光

世界遺産に登録された歴史的建造物や自然公園など、ヨーロッパには世界的に人気の観光地が多い。19世紀には富裕層によって、海岸部や内陸の温泉地、アルプスなどの山岳地域にリゾート地が開発され、余暇としての観光が普及した。フランスでは法律が改正されて、連続5週間までのバカンス（長期休暇）が取得できるようになっている。しかし、国際観光客の増加により、過剰な観光地化が住民に悪影響をもたらすオーバーツーリズム^①もみられるようになった。これにより、交通機関の渋滞や混雑のほか、競争により不動産価格が高騰し、居住環境を圧迫するような問題も発生している（写真9）。



新しい用語と解説

地域の変化を示すために必要な用語について、丁寧な解説とともに取り上げています。

② インターモーダル

鉄道、自動車、船舶、航空機などから複数の異なる輸送手段を効率的に組み合わせた旅客・貨物輸送のこと。二酸化炭素排出量を削減する効果もある。パークアンドライドもその一例。

まとめと考察

まとめ 工業地域の変化と人々の生活に与えた影響についてまとめてみよう。

考察 交通網の発達が衣食住に対して与えた影響について、環境負荷の観点から考えてみよう。

情報源 ヨーロッパの鉄道網を調べるには？ ユーレイルの日本語サイトから、ヨーロッパの主要鉄道を掲載した「ユーレイル路線図（Eurail map）」をダウンロードすることができる。

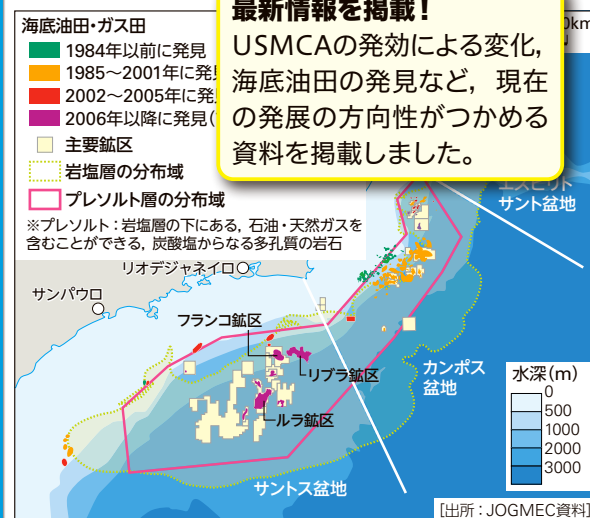
「ロシア」「ラテンアメリカ」「オセアニア」を「開発」の視点から取り上げました。

「ラテンアメリカ」



↑1 鉱山都市・セロデパスコ（ペルー，2017年7月撮影）
銀や鉛の採掘で発展したが，露天掘りの穴が拡大して市街地の一部が失われ，鉛中毒による健康被害も生じている。

↑2 自動車用ホイールの製造（メキシコ・ティファナ，2021年9月撮影）
メキシコでは，USMCAの発効により自動車部品の生産量が増加し，アメリカに輸出している。



最新情報を掲載！

USMCAの発効による変化，
海底油田の発見など，現在の
発展の方向性が見える
資料を掲載しました。

↑3 ラテンアメリカの鉱産資源分布

↑4 ブラジルの海底油田開発 国営石油会社が，沖合の堆積盆地に分布する原油の採掘技術の開発を進め，1997年には約50%だったブラジルの原油自給をほぼ達成させた。

2 開発による発展と社会にみられる課題

学習のテーマ

鉱山開発による経済発展は人々にどのような影響を与えたのだろうか。発展に伴う地域的な課題を踏まえて学んでいこう。

開発と 鉱工業の発展

ラテンアメリカはエネルギー資源や鉱物資源に恵まれ(図3)，農作物とともにその輸出が経済を支えている。メキシコ湾沿岸部やベネズエラ，ガイアナ，エクアドルなどでは原油や天然ガスが産出されており，ブラジルでも海底油田の開発が進められている(図4)。メキシコやアンデス山脈沿いでは金や銀，銅，すず，鉛，亜鉛など非鉄金属の鉱山が多く，ブラジル高原には大規模な鉄山がある。鉱物資源の開発のために**鉱山都市**が建設され，多くの労働者が集まった(写真1)。

しかし，鉱山資源の権益は外国資本が多く保有している。特定の一次産品の輸出に依存する**モノカルチャー経済**は国際市場の動向に左右されやすく，資源価格の低迷で**累積債務**^①を抱える国もある。メキシコやブラジルは21世紀に入ると経済危機を脱し，鉄鋼や家電製品，自動車，航空機などの工業が発展している(写真2)。

① 累積債務

開発と発展の経緯

「ラテンアメリカ」と「オセアニア」では，植民による開発と産業発展について，歴史的な経緯とともに詳しく記述しました。



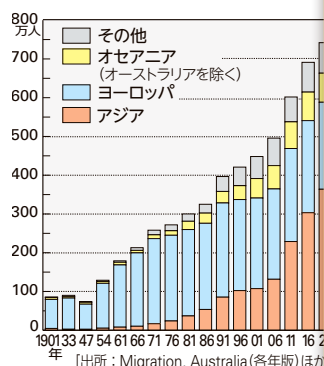
急速に経済発展した理由は？ 大規模な海底油田が発見されたガイアナは，2019年に生産を開始すると2020年には経済成長率が43%を記録し，世界有数の産油国になった。



↑5 アボリジナルの伝統楽器（オーストラリア・シドニー、2020年2月撮影）
更新世末期の低海面期にアジア方面から渡ってきたといわれる。洞窟などを住居とし、狩猟・採集を行って暮らしていた。ユーカリの木から作られるイダキ（ディジュリドゥ）は世界最古の管楽器といわれる。



↑6 マオリの伝統的な踊り「ハカ」（ニュージーランド北島・タウランガ、2019年2月撮影） マオリは、1000年ほど前にポリネシアの島嶼部から船で到達したとされる。ラグビーのニュージーランド代表は、国際試合の前に儀式として「ハカ」を踊る。



↑7 オーストラリアの地域別人口の推移 2010年代以降は、特に中国からの移民が増加

白豪主義から多文化主義へ

オーストラリアではイギリスの入植後、多くの中国系移民（写真3）が流入し、白人を優先する白豪主義の政策がとられた。白豪主義は、1970年代に撤廃され、アジア・太平洋地域からの移民を積極的に受け入れるようになり、多文化主義に転換した。オーストラリアのアボリジナル（写真5）、ニュージーランドのマオリ（写真6）など先住民族に固有の文化も、それぞれ振興が図られている。

少数民族の文化

開発による生活文化の発展を取り上げる一方で、少数民族による伝統的な生活文化にも配慮しています。

	2011	2016
イタリア語	1.9	1.4
ギリシャ語	1.4	1.2
広東語	1.2	1.2
ベトナム語	-	1.2

[出所：Australia Bureau of Statistics(2017)]

移民の出身地の変化と課題

図7のようにアジア系を中心とする移民が増加した結果、現在のオーストラリアやニュージーランドでは、日常的に英語を使わない家庭が増加している（表8）。また、イスラームや仏教、ヒンドゥー教などを信仰する人々が増加している。大都市やその近郊では、移民の多くは民族集団ごとに集住していて、ほかのコミュニティとの分断や対立が問題になっている。そのため、それぞれの生活文化を尊重し共存する、多文化共生社会の実現が求められている。

↑8 オーストラリアの家庭で用いられている言語の変化

まとめと考察

まとめ オーストラリアへの移民の出身国の変化についてまとめよう。

考察 多文化主義に至った背景と、現在かかえる課題について考えてみよう。

ツナガリ ジャパン

オーストラリアの「米の父」



↑9 高須賀稯・イチコ夫妻（オーストラリア・ヴィクトリア州、1915年撮影）

「ツナガリジャパン」

世界各地域と日本との間での経済や文化の結びつきを、多様なテーマで紹介しています。

オーストラリアのコンビニでは、おにぎりやスシロールが販売されている。米の反収は世界一ともいわれ、その約85%がジャポニカ米である。この国での米作りは一人の日本人から始まった。松山藩（愛媛県）出身の高須賀稯（写真9）は1905（明治38）年、家族とこの地に渡った。設備も種もないなか、水路を建設し米作りを試みたが、羊が敷地に入る被害や洪水、干ばつなど様々な問題に直面。堤防を造るなど努力を続け、米の商業生産に成功したのは1914年のことで、まさに偉業であった。現在は記念碑が建てられ、「米の父」として愛されている。

情報源 オーストラリアの農業について調べるには？ オーストラリア農業・水資源省のウェブサイトでは、「Infographics and maps」のコーナーに、わかりやすいイラスト図版がある。

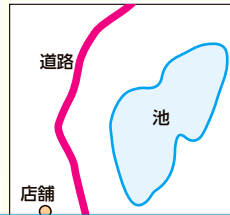
ポイント③

思考力・判断力・表現力を養う

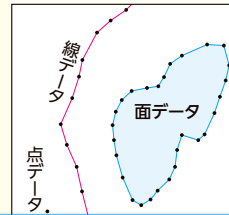


↑ 1 地理空間情報の例 学校を点、道路を線、校庭を面で示している。

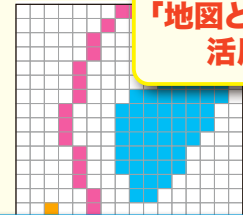
実際の形状



ベクタ型



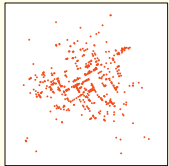
ラスタ型



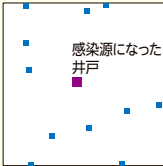
第1章 「地図とGISの活用」

新指導要領における地理学習の基盤となる
地図・GIS の概念を基礎から丁寧に学びます。

レイヤに分けてデータを記録する



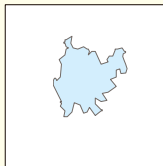
コレラによる死亡者(点)



井戸(点)

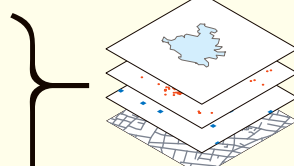


道路(線)



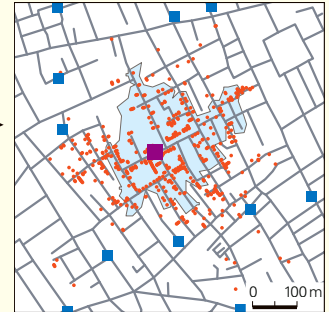
ほかの井戸よりも感染源となった井戸の方が近い範囲(面)

GIS 上でレイヤを重ね合わせる



紙の地図でも同じことはできるが、地図を描く時間が長くなる。
また、GIS を使うと、ほかの井戸よりも感染源となった井戸の方が近い範囲を簡単に計算できる。

【出所：John Snow (1854)「On the Mode of Communication of Cholera」に基づき作成】



↑ 3 GIS で再現
近い範囲、つまり
死亡者が多い

地図・GISの理解を助ける題材

ジョン・スノウによるコレラの地図化を題材に、
地理空間情報を重ね合わせる意義を示しています。

3

GIS・GNSSのしくみと地理空間情報の活用

学習のテーマ

地理空間情報と GIS、GNSS を組み合わせることで、どのようなことができるのだろうか。社会における活用事例をみながら、学んでいこう。

地理空間情報

地理空間情報^①には、経度と緯度による位置情報

が含まれる。例えば、学校の経度と緯度がわかれ

ば、学校の位置は点の形をした地理空間情報として記録できる(図1)。学校の横を通る道路は線の形で、学校の校舎や校庭の平面的な形状は面の形で表現されるが、線や面のデータは、緯度や経度が記録された複数の点をつなげるにより構成される(図2)。

レイヤの重ね合わせ

GIS (地理情報システム) は、地理空間情報を扱うシステムである。GIS では地理空間情報をレイヤとよ

ばれる複数の階層に分けて扱う。GIS では、複数のレイヤを重ね合わせて、位置・分布や距離、地域的なまとまり、空間的相互関係などを分析することにより、物事の関係を理解できる。

① 地理空間情報

地理空間情報は、位置情報(人や物の位置)と、属性情報(名称や地名、統計数値など)から構成される。地理空間情報には、点や線、面の形で記録されるベクタ型のデータと、空中写真のように一つ一つの点が格子状に並んだラス

タ型のデータがある(図2)。
19世紀のロンドンの医師ジョン・スノウは、コレラという感染症の広がりを地図化した(図3)。当時はコレラ菌の存在が知られておらず、コレラは空気を介して感染すると考えられていた。スノウは、コレラによる死亡者と井戸の分布を重ね合わせることで、コレラが特定の井戸の水を介して感染したことをわかりやすく示した。



GISのはじまり R. トムリンソンが、1962年、カナダ農林省に電子地図のシステムを提案し、カナダ地理情報システム(CGIS)が開発されたことがGISのはじまりとされている。



ウェブ地図の基本操作を体験しよう



「Earth：地球の風、天気、海の状況地図」は、スーパーコンピュータを使い、リアルタイムの世界の大気や海の様子を可視化するウェブ地図です。まずはインターネットブラウザでこのサイトにアクセスし、起動してみましょう。

私たちが暮らす日本周辺の空と海を大観しながら、基本操作を覚えよう

■ 右の2次元コードからアクセスし、画面の左下にある「earth」という文字をクリックして、表示されるメニューのうち、**②～⑤**を選択して表示してみよう。



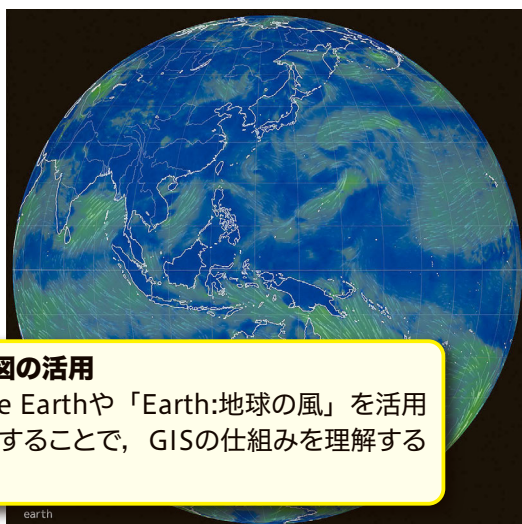
● 「Earth：地球の風、天気、海の状況地図」にアクセスしてみよう。

【画面左下のEarthメニュー】



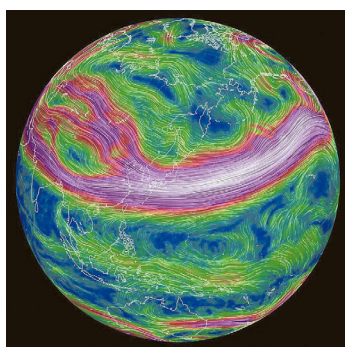
地球儀ソフト・ウェブ地図の活用

技能ページでは、Google Earthや「Earth:地球の風」を活用し、感覚的に操作を体験することで、GISの仕組みを理解することができます。



① 日付の選択

ここでは2013年11月1日9時から現在までの期間で日付を選択し、過去の画像を見ることにする。

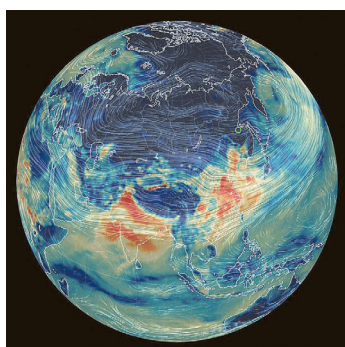


③ 高度「250hPa」

地上約10kmを吹く風が読み取れる。まず日本列島付近の風の向きと風速を読み取り、風の名前を考えよう。また、東南アジアの上空を吹く風の向きと風速も読み取り、風の名前を考えよう。さらに日本付近を吹く風が航空機の移動や、日本の天気と与える影響を考えよう。

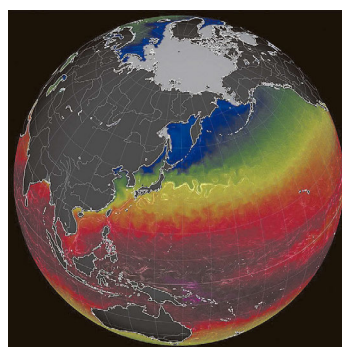
② 高度「地上」(初期画面)

普段私たちが肌で感じる風や気温、季節風、熱帯低気圧などの気象現象が読み取れる。日本周辺を拡大して、風の向きや風速、気温の特徴を読み取ろう。



④ モード「粒子状物質」

おもにPM2.5の濃度分布が読み取れる。白い線は②でみた地上の風を示す。日本列島の近隣でPM2.5の濃度が高い国や地域はどこでどのような地域か。また、⑤の日本への影響はどのようなものがあるか。さらに、アフリカ、南米でも濃度が高い地域があるがその要因も考えよう。



⑤ モード「海」

動画「海流」とレイヤー「海面水温」も選択して、日本列島を拡大してみよう。列島の北と南を流れる海流の方向と水温の違いを読み取ろう。水温は任意の場所をクリックするとメニューの左に℃で示される。第2章で気候を学ぶ際に、ここで読み取ったことを思い出してみよう。

地理院地図と地形図の見方

～地形図をたどって、人々の暮らしを読み取ろう～

デジタルの地理院地図と、アナログの地形図の両方を活用できる力を身につけます。

◎ 市役所	血 博物館・美術館	○ 町村役場	▽ 図書館	○ 温泉・噴気口	○ せき	○ 煙	○ 2車線(幅員13m未満)
○ 官公署	血 老人ホーム	△ 裁判所	▽ 神社	□ 油井・ガス井	○ 滝	○ 茶畑	○ 2車線(幅員13m未満)
△ 税務署	▽ 寺院	△ 消防署	▽ 高塔	△ 坑口	○ 雨裂	○ 果樹園	○ 1車線道路
△ 消防署	▽ 記念碑	△ 病院	▽ 電波塔	△ 煙突	○ 土がけ	○ 荒地	○ 軽車道
△ 保健所	▽ 自然災害伝承碑	△ 警察署	△ 灯台	△ 電波塔	○ 岩がけ	○ 広葉樹林	○ 徒歩道
△ 警察署	▽ 城跡	△ 交番	△ 風車	△ 土壁(盛土部)	○ 岩	○ 針葉樹林	○ 高速道路
△ 郵便局	▽ 史跡・名勝・天然記念物	△ 郵便局	△ 港湾	△ 土壁(切土部)	○ 土壁(盛土部)	○ 竹林	○ 国道(番号)
△ 小・中学校	▽ 墓地	△ 小・中学校	△ 漁港	△ 土壁(切土部)	○ 土壁(切土部)	○ ヤシ科樹林	○ 都道府県道
△ 高等学校	▽ 発電所	△ 高等学校	△ 漁港	△ 土壁(切土部)	○ 土壁(切土部)	○ ハイマツ地	○ 有料道路
						○ 笹地	○ 庭園路
							○ 石段

普通建物	都府県界	単線	複線以上	建設中又は運行休止中	JR線
堅ろう建物	北海道総合振興局・振興局界	地下式鉄道	路面の鉄道	リフト等	JR線以外
高層建物	市区町村界	特殊鉄道	送電線		
無壁舎(温室等)	所屬界				
	特定地区界				

計曲線	50m	△ 11.4 電子基準点
主曲線	10m	△ 52.6 三角点
補助曲線	5m	□ 21.7 水準点
	2.5m	・ 125 標高点
		- 125 水面標高

↑ 1 おもな地図記号(2万5000分1地形図, 電子地形図25000)

地形図の利用

日本の地形や土地利用などを調べるためには、国土院の**地理院地図**や**地形図**が役立つ。地理院地図や地形図では、土地利用や建物、道路などを示すために図1のような**地図記号**が使われている。2013(平成25)年11月以降に刊行されている紙の2万5000分1地形図や電子地形図25000では、工場と桑畑の記号が廃止されている。また、いくつかの地図記号が新設され、高速道路や国道、都道府県道の色分けも加わるなど表現方法にも変更があるため、注意が必要である。

地理院地図は、画面上で自由に拡大・縮小できるため、ズームレベルにより地図の表現が異なる。紙の2万5000分1地形図と同じ表現は、ズームレベルの15～17で使用される。

主要な地図記号を掲載

地理院地図のウェブサイトよりも簡潔に、おもな地図記号を一覧でまとめました。まずは凡例をみながら地理院地図を操作すると、読図の理解が早まります。

もののである。**水準点**は、おもな国道や主要地方道に沿って設置されていて、標高が正確に計測されている。**三角点**は、山頂付近やビルの屋上など見晴らしが良い場所に設置されていて、緯度や経度、標高が正確に計測されている。**電子基準点**では、GNSS衛星からの電波により正確な位置や標高が計測されている。地理院地図や地形図では、これらの基準点を設置している場所の標高が示されている。

また、地形図には同じ標高の場所を結んだ**等高線**も引かれている。等高線が密なところは地面の傾きが急であり、疎なところは傾きが緩やかである。等高線から地形断面図を作成すると、地形がとらえやすくなる。



下の地形図は、熊本県菊陽町周辺の電子地形図です。地図と文章を読み比べながら、A～Cの問いに答えましょう。



●熊本空港～菊陽町周辺を、地理院地図で表示しよう。



地理院地図・地形図

代表的な地形がみられる地形図を、地理院地図に対応した新しい図式で掲載。二次元コードからは、同じ場所の地理院地図をスマホなどで表示できます。

↑2 熊本県菊陽町周辺の地形図(電子地形図25000「肥後大津」[健軍], 2023年9月調製)



熊本空港の北にある鼻ぐり大橋から歩き始めましょう。鼻ぐり大橋の南側にある公園(A)では、江戸時代から続く「鼻ぐり」という灌漑施設を見学できます。このあたりの台地は、白川が流れる場所よりも一段高い土地のため、井手とよばれる用水が引かれています。「鼻ぐり」は、阿蘇から流れてくる火山灰や土砂が用水路にたまってしまふのを防ぐ施設です。

白川を渡って北へ向かいましょう。白川の右岸にも用水があり水田が広がっています。段丘を一段上ると、菊陽町役場や郵便局がありますが、このあたりの住宅地(B)は、比較的新しく作られたようです。

町役場のあたりから西に向かって杉並木公園(C)を目指しましょう。公園の近くにある杉並木(D)は、江戸時代の参勤交代でも使われた、豊後街道沿いに植えられたものです。公園には、かつて用水路にかかっていた橋が保存されていて、この地域の人たちがいかに水とともに生きてきたのか、その一端を垣間見ることができます。

杉並木公園から南に向かい、日吉神社(E)を目指しましょう。日吉神社のすぐ北側の道に来てみましたが、神社に通じる道がありませんでした。西側にあるヘアピンカーブの道路で急な崖を降りて表側に周り、山道の長い階段を登って、ようやく神社にたどり着くことができました。この神社は、崖のふもとにある津久礼集落の鎮守様です。崖に沿って、敷地の広い昔ながらのお屋敷がたくさんありました。



A鼻ぐり大橋の南東にあるA地点から、菊陽町の役場近くのB地点までの断面図を、地理院地図でつくってみよう。つくった断面図から、以下のことを読み取ろう。

- 菊陽町の役場が広がっている地域の標高は_____m。
- 菊陽町の役場がある段丘面とその一段下の段丘面の比高は_____m。
- ② 上津久礼集落の西にある神社Eの東側の地形から尾根線を読み取ってみよう。
- ③ 緑陽台という住宅地の過去の土地利用を、今昔マップで調べてみよう。また、上津久礼、下津久礼という段丘崖に沿った古い集落は、なぜ緑陽台よりも一段下の段丘面にあるのか、考えてみよう。

料理を通して生活文化について考えよう。

衣食住を重視する地理総合の魅力が生徒の興味と結びつく、楽しいアクティビティを用意しました。

世界

作物や調理の仕方は、地形や気候などの自然環境と関連しているのでしょうか？
また、宗教や文化、経済発展などの影響はあるのでしょうか？
レモンを例に、可能であれば実際に料理を作りながら考えてみましょう。



1 統計資料をもとにレモンの地図をつくろう。

2021 年	生産量 (千トン)	%
インド	3 548	16.5
メキシコ	2 984	13.8
中国	2 560	11.9
アルゼンチン	2 016	9.4
トルコ	1 550	7.2
ブラジル	1 500	7.0
スペイン	1 017	4.7
アメリカ	804	3.7
南アフリカ	656	3.0
イラン	507	2.4
世界計	21 547	100.0

2021 年	消費量 (kg/人)
バハマ	26.49
ドミニカ国	23.30
トンガ	19.45
アメリカ	18.00
アルゼンチン	17.88
メキシコ	14.76
ウルグアイ	14.49
レバノン	12.49
バーレーン	10.84
モルディブ	9.89

【出所：FAOSTAT
(2024.12 ダウンロード)】



統計・GISの活用

地理学習の基本となる用語を太字で強調。地理探究へとつながる系統的な知識が過不足なく身につきます。

↑1 レモン・ライムの生産量(左)と1人当たり消費量(右) FAOによる統計では、レモンとライムは合算して集計されている。ライムは酒の香り付けに用いることが多く、リゾートが発達した国で1人当たり消費量が多くなっている。



●「MANDARA」用統計データ
(表計算ファイル)

↑2 作業用白地図



- ①レモン・ライムの生産量上位10か国ついて、白地図に黄色で着色してみよう。
- ②レモン・ライムの1人当たり消費量上位10か国について、首都の位置に赤い丸印をつけてみよう。
- ③GISソフトが使える場合は、左の二次元コードから統計データをダウンロードして地図化してみよう。
- ④下の文章を読んで、レモンの伝播経路を地図上に矢印で書き込んでみよう。

【レモンの歴史】

レモンはインドのアッサム^{かんきつ}地方を原産とする。アラビア語の「ライムウン(柑橘類の果実)」を語源とし、早くからシロップやキャンディ、石けんや香水に加工されてきた。7～9世紀頃、ムスリム商人がインドやペルシアでレモンと出会い、イスラームの拡大とともにスペインやシチリア、北アフリカなどに広まった。

12世紀にはエジプトの医師イブン・ジュメイによって、レモンに関する最古の医学的な料理集が執筆され、清涼飲料水としても用いられるようになった。この清涼飲料水(レモネード)は、喉の渇きを癒やし、体力を回復させ、喉の炎症から消化不良、二日酔いまで、あらゆる症状に効くとされた。

16世紀には、レモンは北西ヨーロッパで「異国の貴重品」として珍重され、オランダの静物画では鮮や

かな色合いとともに主役として描かれた。また、この作物の薬効も名高く、マゼランの航海を襲った「海の疫病(壊血病)」にも効果があるとされた。

その後、ポルトガル人がブラジルへ、18世紀にはイギリス人がブラジルからオーストラリアへ、レモンの栽培技術を伝えた。そして、19世紀の半ばには、アメリカ合衆国のカリフォルニア州で商業栽培が発展した。1893年に発足した「南カリフォルニア青果協同組合」が1905年に「カリフォルニア青果協同組合」に改称され、1952年にはサンキスト・グロワーズとして世界

本書のアクティビティ

- ①アニメの聖地マップを作ろう。
- ②料理を通して生活文化について考えよう。
- ③旅行計画を立ててみよう。
- ④身近な地域の災害リスクに備えよう。
- ⑤地域調査の結果を発信しよう。

教科書全体では、
37点の料理写真を掲載!!

2 世界のレモン料理を作ってみよう。

①インド



जलजीरा
(Jaljeera)

↑3 ジャルジーラ

レモンとミントで飲みやすくしたスパイス飲料。ヒンディー語でジャルは水、ジーラはクミンを意味する。

②キプロス



Αυγολέμονο
(Avgolemono)

↑5 アブゴレモノ

卵とレモンのカスタード状スープ。地中海地域にはレモンを用いた料理が豊富にある。

③ギニアビサウ



Cafriela de frango

↑7 カフリエラ・デ・フランゴ

若鶏をレモン、玉ねぎ、唐辛子で煮込んだ料理。ギニアビサウでは定番の組み合わせ。



↑4 ジャルジーラを売る人
(デリー、2014年9月撮影)



↑6 レモンの収穫
(パフォス、2023年5月撮影)



↑8 レモンなど青果物を売る市場
(ビサウ、2018年1月撮影)

【インドのジャルジーラ】

材料 (2 人分) :

- ・炭酸水 400 ~ 500 mL
- ・レモン 1 個 (好みで加減する)
- ・クミンパウダー 小さじ 1/2
- ・ジンジャーパウダー 小さじ 1/8
- ・こしょう 小さじ 1/4
- ・クローブパウダー 少々 (耳かき 1 杯分)
- ・ヒング 少々 (耳かき 1/2 杯分)
(臭いの強い調味料。省略してもよい)
- ・タマリンドペースト 小さじ 1/2
- ・ミントの茎と葉を摘んで 1/3 カップ
- ・岩塩 小さじ 1/5
- ・天かす 大さじ 1

作り方 (調理時間 5 分) :

1. <前日>炭酸水を冷蔵庫で冷やす。
2. <当日>レモンを絞って果汁を得る。
3. 小さなフライパンか鍋にクミンパウダーをローストして、残りのスパイス (ジンジャーパウダー、クローブパウダー、ヒング) を予熱で温めスパイスミックスを作る。
4. 小さな容器に、スパイスミックス、タマリンドペースト、ミントを入れ、レモン果汁を大さじ 2 杯入れ、スプーンで叩いてミントの茎と葉の組織を潰して香りを出す。味見をして、スパイス加減、酸味加減、塩加減などを好みに整える。
5. 2 つのグラスに 2 等分して入れ、冷えた炭酸水を注いで軽くステアし (1 ~ 2 回かきまぜ)、天かすを乗せてできあがり。



●レモン料理のレシピ

「ICTライブラリ」から、
レシピのPDFを入手できます。

【料理写真・レシピ提供】世界の料理「NDISH」



地理教科書初!? 実際の料理のレシピを紹介!

各国の食文化の写真を見るだけでなく、レシピから調理方法を具体的に調べ、可能であれば実際に作ってみることで、異文化理解が深まります。

日本でも、瀬戸内海で採れたレモンを「瀬戸内レモン」と名付けて新しい料理を開発し、地産地消や6次産業化につなげる動きがみられます。世界各地の料理をヒントに、日本産の食材でオリジナルの料理を考えてみましょう。



① ①A~①Cの国の気候や宗教を調べ、料理とどのように関連しているか、考えてみよう。

② 教科書のなかから料理の写真を探し、その料理に使われている食材をレシピなどから調べてみよう。



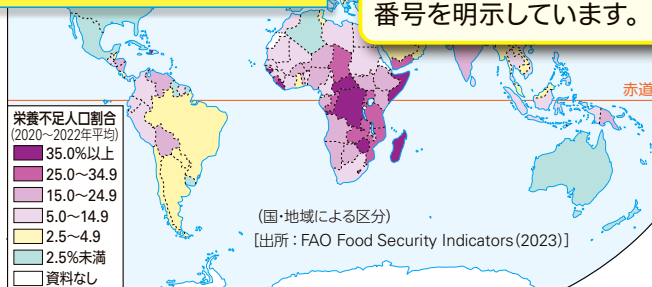
SDGs（持続可能な開発目標）と関連する課題を通して、思考力・判断力を身につけます。

SDGsの目標番号

地球的課題の各節の先頭には、特に関連が強いSDGsの目標番号を明示しています。

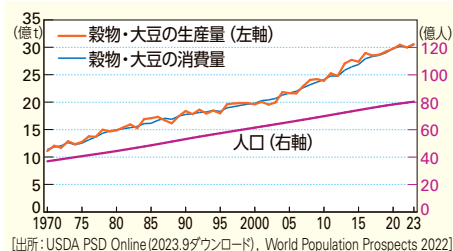


↑1 マダガスカルの干ばつ（南部ベハラ、2021年8月撮影） 激しい干ばつによる食料危機「ケレ」が続き、栄養価の少ない「ラケタ」というサボテンを煮込んで食べ、飢えをしのいでいる。

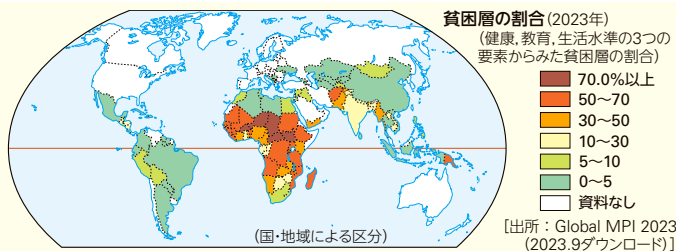


↑2 国・地域別の栄養不足人口割合（ハンガーマップ）

特にサブサハラやアジアの政情不安が続く国や地域で割合が高くなっている。日本もゼロではない。



↑3 穀物・大豆の生産量・消費量と人口



↑4 国・地域別にみた貧困層の割合

1 二つの食料問題とその背景

学習のテーマ

十分な食料生産があっても、地球上のすべての人に食料が行き渡らないのはなぜだろうか。「飢餓」と「飽食」という二つの問題に焦点を当てて学んでいこう。

学習のテーマ

食料問題については、「飢餓」と「飽食」の両面から考察できるように紙面を工夫しました。

十分な食料、十分な水、健康的で活動的な生活を送るために十分な食物エネルギー量を継続的に入手することができない状態をいう。

② 食品ロス

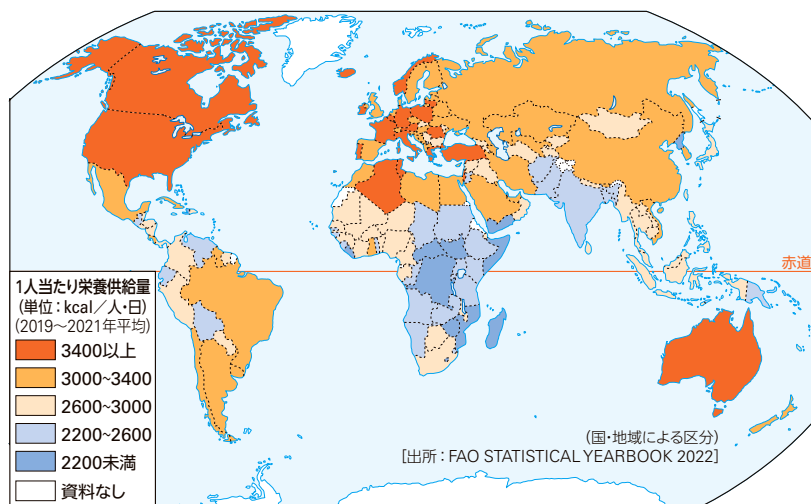
食べられる状態にあるにもかかわらず、食品が廃棄されている状況を意味する。また、廃棄される食品そのものを指すこともある。

食料の不足「飢餓」

世界の穀物生産量は約30億トンで、生産量と消費量は拮抗している（図3）。計算上は在庫量を加えれば世界中の人々の食料をまかなえると考えられるが、現実には、世界で栄養不足^①による飢餓に苦しむ人々が約7～8億人、つまり約10人に1人もいる。特に深刻なのは、5歳未満の乳幼児の3～4分の1が栄養不足状態にあることである。ハンガーマップ（図2）をみると、栄養不足人口の割合が特に高い地域は、サブサハラで、西アジア・南アジアなどの発展途上地域がそれに続いている。健康、教育、生活水準の要素からみた貧困層の割合を示した地図（図4）を照らし合わせると、サブサハラでは、栄養不足人口の割合と貧困率がともに高い傾向にある。栄養不足の背景には、気候変動や長期的な干ばつ（写真1）、人口の急増による過耕作や過放牧による土壌の劣化、単一作物に依存するモノカルチャー経済、地域紛争や政情不安などが、直接の原因になっている。



食料安全保障とは何だろう？ FAO（国連食糧農業機関）によれば、食料安全保障は①供給、②アクセス、③利用、④安定という四つの要素によって成り立っている。

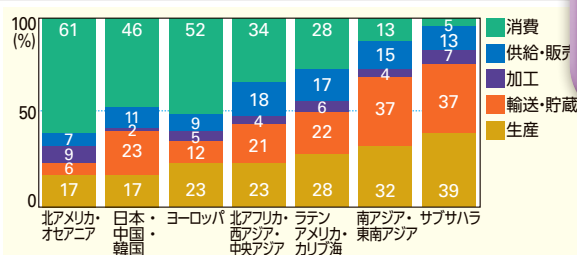


↑ ⑤ 国・地域別の1人当たり栄養供給量

(kcal/人・日)	全生産量	直接食用消費	飼料等利用	ロス・廃棄
北アメリカ・オセアニア	9 109	32%	54%	15%
日本・中国・韓国	3 969	52%	31%	17%
ヨーロッパ・ロシア	5 442	33%	54%	13%
西・中央アジア・北アフリカ	4 321	50%	32%	18%
ラテンアメリカ	4 351	47%	38%	16%
東南アジア・南アジア	2 713	69%	16%	15%
サブサハラ	2 976	64%	19%	17%
世界全体	3 938	51%	34%	16%

[出所: Kummu M, et al (2012)]

↑ ⑦ 地域別にみた作物の全生産量・用途・食品ロス



[出所: Champion 12.3 (2017)]

↑ ⑧ 地域別にみた食品ロスの内訳

途上地域では、収穫前や収穫時の損傷、冷蔵・冷凍施設の不足、輸送時の劣化など、生産者側のロスの割合が高い。

食料の過剰「飽食」

世界では、食料の「**飽食**」が同様にみられる。

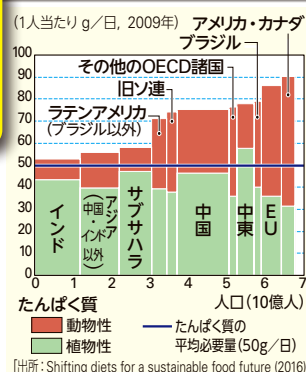
供給量を見ると、低所得の国や

方、高所得の国や地域では、3,000kcalをこえる飽食になっている(図5)。先進地域では、肉類を大量に消費する食生活がひろまり、世界の食料配分に偏りがあることがわかる(図9)。食料生産と消費の状況を見ると、栄養不足が顕著であったサブサハラなどでは、食用として作物を直接消費する割合が高い(表7)。一方、先進地域では作物の約半分が家畜の飼料に利用されている。

食品ロス^②を食料の生産、流通、消費の各段階別にみると、国や地域によって食品ロスが発生する段階が異なっている(図8)。日本で消費段階の割合が高いのは、期限切れ商品の廃棄が多いことと関係している(写真6)。一方、低所得の国や地域では、生産・流通段階でのロスの割合が高い。こうした食の不均衡や食品ロスは、水、土地、肥料などの生産資材や労働力などの損失にもつながり、食料不足によって社会が不安定になるなどの問題も生じる。

地域差が明らかになる統計・指標

先進地域と途上地域での食品ロスや栄養摂取量の傾向の違いから、地域ごとに異なる課題を見出すことができます。



↑ ⑨ 地域別にみた動物性・植物性たんばく質の摂取量

まとめと考察

まとめ 食料生産が向上しているのに食料不足が生じる理由について、まとめてみよう。

考察 「飢餓」と「飽食」にかかわる地図を比較し、各国や地域がどのように関係しているか考え、話し合ってみよう。



情報源 リアルタイムのハンガーマップを見るには？ WFPは紙版のハンガーマップの提供を中止し、リアルタイムで世界の食料問題を表示するサイト「ハンガーマップ・ライブ」を公開している。



安全で多様なトイレを利用できる社会

私たちが生きる上で欠かせないものとは何だろう？



SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」は、生きる上で一番大切なことを掲げたものです。全ての人々が安心して利用できる、理想のトイレのあり方とは何でしょうか。世界のトイレの事例や身近な課題もとに、具体的に考えてみましょう。

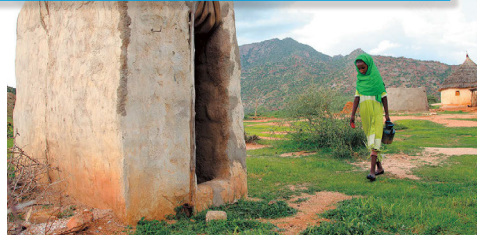
SDGsの具体的な目標についての考察から、理想的な未来社会を構想するページです。



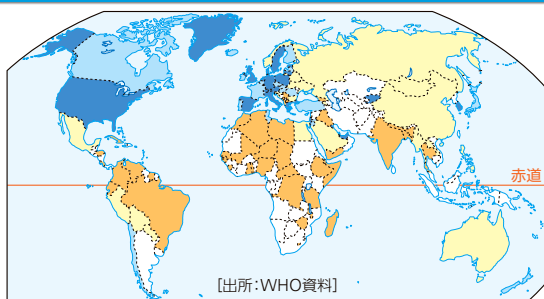
↑1 家族での水汲み（エスワティニ・ルボンボ，2018年11月撮影） 乾季には、枯れた川底を掘り、わずかにたまる水を家族総出で汲んでいる。



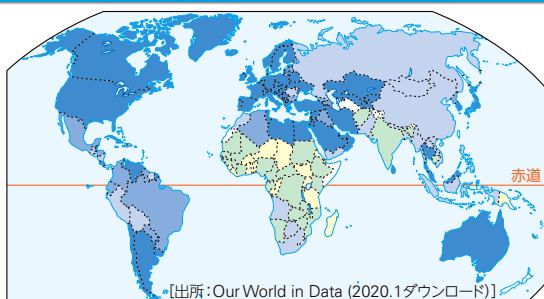
↑2 川の上のトイレ（リベリア・モンロビア，2021年11月撮影） トイレから直接川に排出されるので、下流では安全な水が利用できず、感染症の原因になる。



↑3 野外にあるトイレ（エリトリア，2014年8月撮影） 家の中にトイレがなく、瓶に入れた水と石けんを持って野外の共同トイレに向かっている。



↑4 安全な水を利用できる割合 どのような国で安全な水が得にくいのか、また、考えてみよう。



↑5 衛生的なトイレを利用する人口割合 「衛生的なトイレ」などにより、排泄物を別のしをさす。

主題図の比較から考える

水とトイレに関わる世界の現状について、SDGsの指標にもなっている統計をもとに考えさせます。

●衣食住+水+便

生きる上で一番大切なことは何だろう。そう問われて、「食べること」あるいは「衣食住」と答える人はいても、「安全な水を利用すること」や「排泄すること」、「トイレ」と答える人はほとんどいない。しかし、食べることがすべての人に欠かせないことであるように、安全な水を利用すること、排泄することやそれをどのように処理するかという問題は、世界中の人々に関わっている。つまり、一番身近なSDGsとして重要なテーマの一つなのである。実際、SDGsの17の目標のうち、6番目に「安全な水とトイレを世界中に」という目標が掲げられている。

安全な水とトイレを利用可能で、汚染のない水源からの飲料水を得られる状況を意味している。WHO（世界保健機関）の統計によれば、世界には安全な水を利用できる人の割合が90％を越す国や地域と、50％以下の国や地域が同時に存在している（図4）。水道が普及しておらず、遠くまで水を汲みに行かなければならない地域もあり、水資源へのアクセスの改善も課題である（写真1）。また、トイレを含む生活排水の処理が不十分なことによる衛生状態の悪化も深刻化している（写真2）。汚染された水が原因で衛生状態が悪化すると、コレラ、赤痢などの感染症が蔓延する原因にもなる。



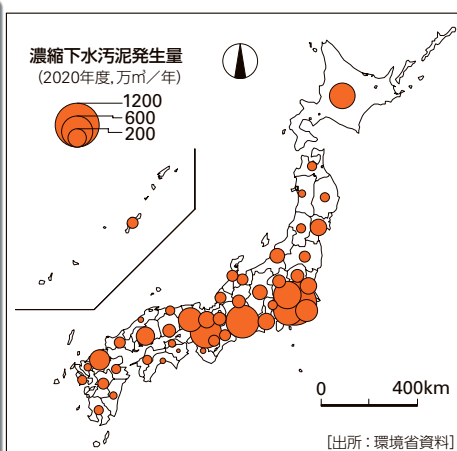
↑6 ユニセフの支援で設置されたトイレ（バングラデシュ・ダッカ、2014年8月撮影）清潔に使えるように、絵入りの説明ポスターが貼られている。



↑7 ドアの下が開いたトイレ（アメリカ・ニューヨーク、2022年5月撮影）犯罪防止のため、ドアの下が広く開いている。



←8 オールジェンダートイレ（ドイツ・ハンブルク、2022年1月撮影）トイレを男女別にするか、ジェンダーフリーを推進するかについては、世界的にも試行錯誤が続いている。



↑9 濃縮下水汚泥の発生量

下水処理後に発生する下水汚泥量は、都道府県によって大きな違いがある。この量を規定する要因は何か、考えてみよう。

多様なトイレの写真から考える

世界のさまざまな国にあるトイレの写真から、それぞれの社会が抱える課題を考察させることができます。

えよう。

● トイレが社会を変える

安全な水やトイレにアクセスできない状況は、SDGsの目標6だけでなく、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標13「海の豊かさを守ろう」などにもつながる、社会全体に関わる重要な課題といえる。WHOとユニセフ（国連児童基金）の調査によると、日本や欧米諸国では安全に管理されたトイレを使用する人口割合が高い一方、南アジアやアフリカ諸国などは低い（図5）。こうした地域では、プライバシーが確保されていない野外の共同トイレが多くみられる（写真8）。そうした地域に安全なトイレ（写真6）を建設するなどの国際支援が試みられてはいるが、水の得にくさや、継続的なメンテナンスが課題となっている。また、ジェンダーや地域の治安、文化、習慣などに即してトイレのあり方を考える必要があり、トイレの理想的なあり方については試行錯誤が続いている。そのため、多様性を知ること重要である

● 下水汚泥の行方

下水処理施設が普及している日本のような国でも、処理後に発生する産業廃棄物としての下水汚泥をどうするかという問題が残されている（図9）。汚泥の発生量は人口数に比例する傾向があるため、都市への人口集中ともかかわる問題であるということも重要な論点となる。最近ではエネルギー、建材、緑農地への還元など、さまざまなリサイクル方法が模索されている（写真10）。



焼却灰を固めたブ

「構想しよう」

「Think globally」の観点から、理想的な国際社会を構想させる問いかけを、最後に設けています。

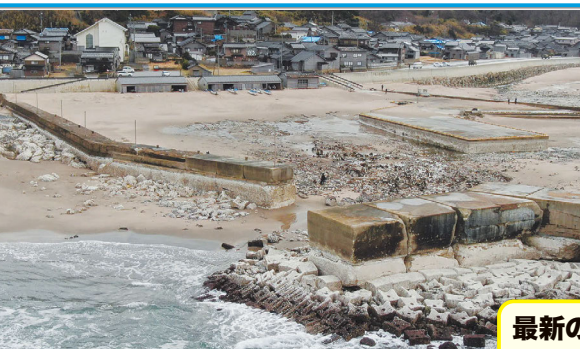
構想しよう

これまで学んできた生活文化や地球的課題を踏まえて、世界の人々の多様な居住環境や、文化・習慣に寄りそった、理想的なトイレのあり方について構想してみよう。

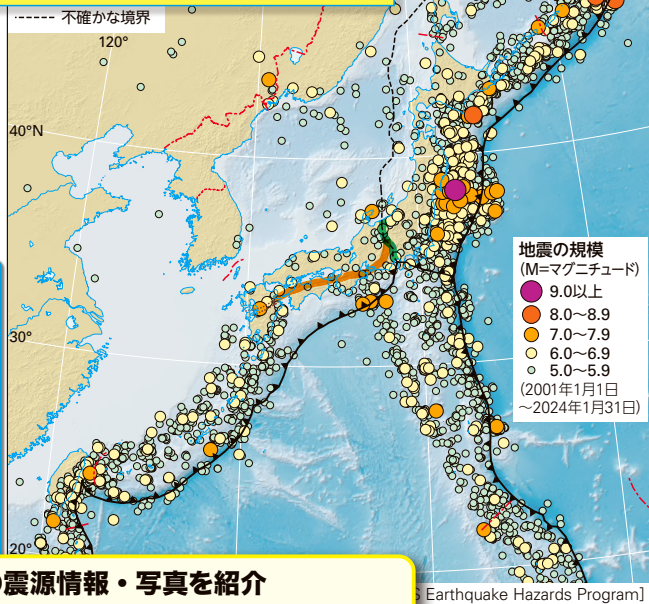
「日本の自然環境と防災」では、地域により異なる災害リスクに対応し、豊富な事例を取り上げました。



↑1 熊本地震による斜面の崩落（熊本県南阿蘇村，2016年4月撮影） 斜面崩壊により国道や鉄道が寸断され，阿蘇大橋が落橋した。



↑2 能登半島地震による隆起（石川県輪島市黒島漁港，2024年1月撮影） 黒島漁港付近の海岸線が約4m隆起し，海岸線が200m以上後退した。



最新の震源情報・写真を紹介

能登半島地震，福岡ノ場の噴火による軽石の漂着，福岡や長崎の風水害など，2020年代に発生した災害事例の写真を掲載し，震源の分布図も更新しました。

地震や，南海トラフを震源と想定し，対策が進められている。

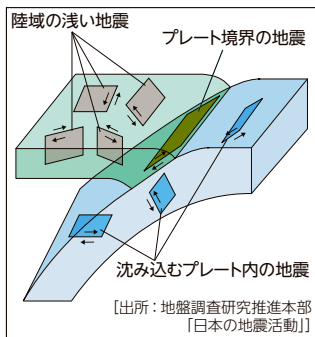
3 地震・津波と防災

学習のテーマ

地震のタイプによりどのような被害が考えられるかを学び，地震や津波の被害を減らすためにできることはなにか，考えてみよう。



● 3D表示で日本周辺の震源分布を確認してみよう。



↑4 日本列島とその周辺で発生する地震のタイプ

沈み込むプレート内で発生する地震は，震源が深い場所にある場合，震源から遠く離れた場所でも揺れが大きくなることもある。

地震発生のメカニズム

日本は地震大国ともいわれ，年により差はあるが，2001年以降では震度1以上の地震の発生回数が1000回を下回る年はない。震源の位置に着目すると，プレート境界の地震とプレート内の地震に大きく分けられる(図4)。

プレート境界の地震は，プレート境界でたまったひずみが限界に達し，陸側のプレートが跳ね上がることで生じる。2011年の東北地方太平洋沖地震では日本の観測史上最大のM9.0を記録するなど，地震の規模が大きいものが多い(図3)。プレート境界の大規模な地震は，数十～百数十年に一度，繰り返し発生する。

プレート内部の地震には，陸域の浅い地震と，沈み込むプレート内の地震がある。陸域の浅い地震は，地下の活断層が動くことによって生じ，震源域の直上に居住地があると大きな被害をもたらす(写真2)。震源から離れても活断層に沿って帯状に被害が出ることもあり，どこに活断層があるかを把握しておくことが重要である。しかし，活断層は数百年から数万年に一度動く程度の頻度でしか動かず，現在わかっている活断層以外にも，未知の活断層も日本列島の中に数多くあると考えられている。



琵琶湖で津波が発生する？ 琵琶湖西岸の湖底には活断層があり，平安時代と考えられる津波の痕跡が遺跡から発見された。3m程度の津波の可能性が滋賀県により試算されている。



地震：兵庫県明石市
津波：高知県須崎市
噴火：富士山
洪水：岡山県倉敷市真備町
都市型災害：東京都・荒川
土砂災害：長野県飯田市川路地区



河川の付け替え工事の完成を受け、災害当時の地形図に、現在の河川の流路を重ね合わせました。

↑5 地形図(付け替え工事完成前)に重ね合わせた真備地区周辺の推定浸水範囲

図5は2018年7月の西日本豪雨により広い範囲で被害が出た岡山県倉敷市真備町周辺において、浸水の深さの推定分布と、堤防の決壊や越水などが生じた場所を示したものである。堤防の決壊は小田川と、その支流（高馬川）の合流地点で生じ（写真③）、浸水の被害にあった住宅の大半は、小田川が高梁川に合流する地点の左岸側に立地していた。その後、小田川と高梁川の合流地点は、2024年3月に下流の倉敷大橋付近に付け替えられた。

同じ地域の旧版地形図(図1)を見て、この地域がどのような特徴を持っているのか、右の点について着目し、読み取り作業を行おう。



●「真備町あの日の24時間～タイムラインでみる決壊の様子」を見てみよう。

比較の着目点

- 浸水した住宅地は、旧版地形図ではどのような土地利用だっただろうか。
- 今回浸水した地域に住宅地や学校が作られた理由を考えてみよう。
- 高梁川・小田川の流路はどのように変更されただろうか。



身近な地域で、今回浸水した地域と同様に水田だった地域が宅地化されたところはあるだろうか。ある場合は、どのような浸水対策が取られているか、調べてみよう。

多くの学校で取り入れやすいよう、バーチャルとリアルでの地域調査の方法を紹介しています。



●地球儀ソフトを用いて写真①～写真④の地点を表示し、それぞれについて土地利用を説明してみよう。



↑① 豊橋駅前



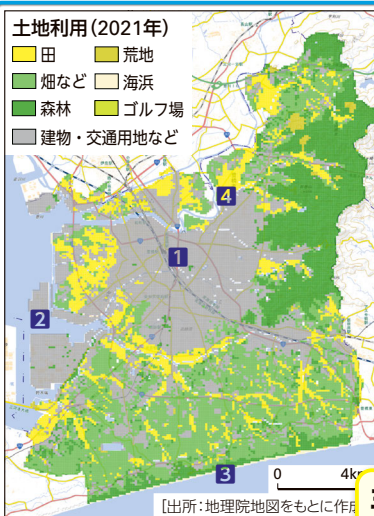
↑④ 豊橋市北部



↑② 港湾地区

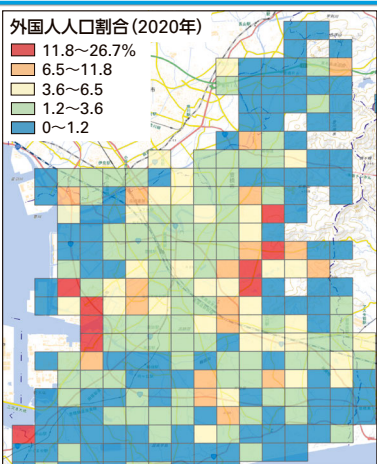


↑③ 豊橋市南部



↑⑤ 豊橋市の土地利用

標高や河川、地形分類図などと重ね合わせることで、自然環境との関係を考察できる。



主題図づくり

学校の状況などによって、地域調査の実施が難しい場合、インターネットを通じた情報収集によっても作ることができる主題図の例を示しました。

2

地域調査① バーチャルとリアルでの景観観察

学習のテーマ

統計データや文献調査を通して、地域がどのような資源・魅力や課題を持っているか、その背景に何があるのか、仮説を立ててみよう。

バーチャル 景観観察

地理院地図やデジタル地球儀を用いると、教室でも

地域を俯瞰的にとらえることができる。写真①は豊橋駅前東側の市街地を、写真②は豊橋市西部の港湾地区、写真③は南部の丘陵地、写真④は北部の住宅地と水田地帯を表示したものである。また、デジタル地球儀のストリート画像表示機能を利用すれば、道路からみた景観をバーチャルに観察することができる(写真⑦)。

調査テーマ の設定

地域の状況をとらえるためには、主題図の作成が有効である。農業地域の分布をみるために土地利用図を作成すると、豊川の低地や南部の丘陵地に農地が広がっていることがわかった(図⑤)。また、豊橋市は工場で働く外国人が多く、多文化共生のまちづくりを掲げている。国勢調査に基づく外国人人口メッシュの主題図を作成すると、市内にいくつか集住地区があることがわかった(図⑥)。このように、豊橋市には多様な地域があり、その中心市街地は経済や文化、交通の中心地になっている。そこで、「まちなかの魅力と課題」を調査テーマとすることにした。



↑⑦ 再開発ビル(左)と水上ビル商店街(右) (2023年10月撮影)



●写真⑦と同じ地点でストリート画像を表示してみよう。



豊橋で親しまれているブラジル料理 豊橋には自動車工場などで勤務する日系ブラジル人が多く居住しており、外国人人口割合の多い地域とブラジル料理店の立地に対応がみられる。



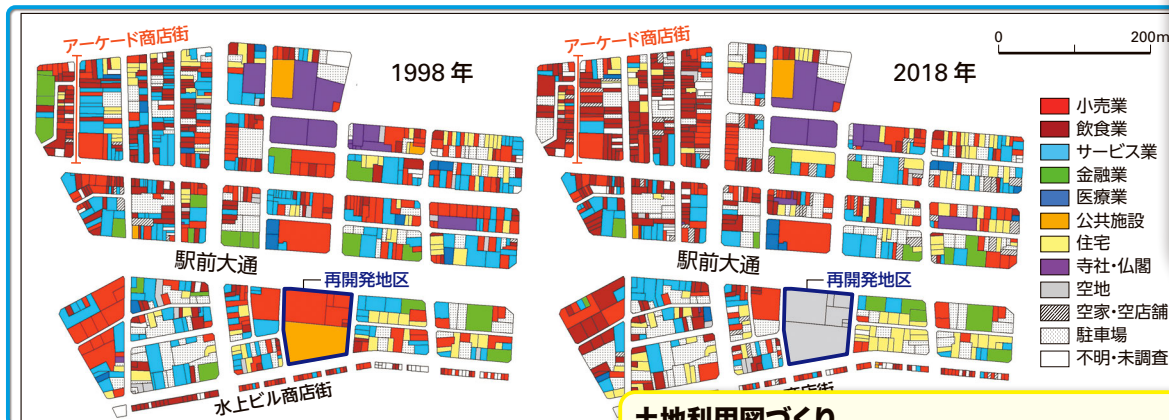
↑8 飲食店が増加したアーケード商店街
(2022年12月撮影) 夜は飲食店利用客でにぎわうが、昼間は人通りが少ない。



↑9 練り物を販売する老舗の店舗
(2016年11月撮影) 「魚町」という地名が示す通り、練り物や佃煮、鯉節などを扱う老舗が立地している。



↑10 空き店舗や駐車場
(2016年11月撮影) 空き店舗が住宅になっていたり、取り壊して開口の狭い駐車場になっていたりする



↑11 30年間の「まちなか」地域の土地利用変化

左図(1998年)は過去の住宅地図を参照することで、右図(2018年)は実際の調査に基づいた土地利用図の作成例を示しています。

土地利用図づくり

地域調査の基本である、実際の調査に基づいた土地利用図の作成例を示しています。

リアル 景観観察

事前調査を行った地域の現状をさらに詳しく把握するためには、**景観観察**が有効である。そこで、豊橋駅の東側に広がる「まちなか」と呼ばれる地域を対象に景観観察を行った。

豊橋駅前のアーケード商店街を歩くと、小売店は少なく、ほとんどが飲食店となっていた(写真8)。一方、旧東海道に近い商店街では、創業100年を超える老舗の店舗(写真9)もいくつかみられたが、空き店舗や駐車場となっていた。再開発された区画やその側にアーケード下の歩道、建物のすき間など、にぎわっている様子も確認できた(写真10)。

Checkマーク(計37箇所)

学習のテーマに沿って、図版の読み取り指示や簡単な作業例を示しています。

土地利用図 の作成

次に、景観観察の結果と過去の住宅地図をもとに、新旧の土地利用図を作成した(図11)。その結果、かつては全体的に小売店が多かったが、近年は特に豊橋駅の近くで飲食店が増えていた。一方、豊橋駅から離れると、住宅や空き店舗・駐車場が多かった。このように、「まちなか」でも場所によって特徴があることがわかった。そこで、聞き取り調査により、土地利用に場所による違いが生じてきた背景について調べることにした。



↑12 朝市でにぎわう商店街

(2023年5月撮影)
既存店舗だけでなく、広場にアンティークショップや雑貨屋、カフェなどが出店し、にぎわいをみせていた。



店舗数や通行量、ベンチの数など、景観観察と同時に数値として得られるデータがあれば、集めてみよう。

まとめと考察

まとめ 景観観察で得られた情報を分類し、地図で表現してみよう。

考察 調査結果が仮説と違っていたことについては、さらに調査を進めよう。

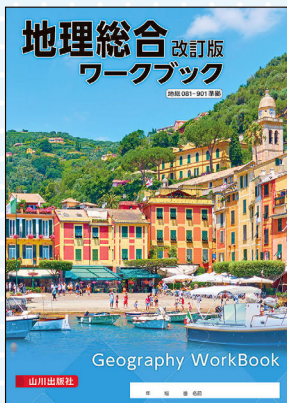
情報源 過去の詳細な土地利用を知るには？ 都市部では1960年代頃から住宅地図が発行されており、過去のものは地元の図書館で閲覧できることが多い。

地理総合 改訂版 ワークブック

地総 081-901 準拠

B5判・96頁・1色刷 定価：700円(税込) 別冊解答付

地総081-901教科書「地理総合 改訂版」に完全準拠したワークブックです。基礎的な知識・技能が無理なく身につきます。

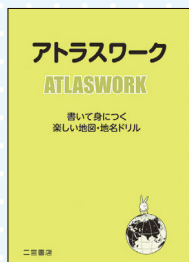


● 穴埋めによる 「内容の整理 (Basic)」を 左側に配置

左ページの下欄「Words」に、
空欄の選択肢を用意しました。穴
埋めにより地理用語を整理させ、
基礎知識の定着を図ります。

穴埋め問題は最大20問。
ページの下部に選択肢を設けているので、
無理なく作業を進めることができます。

地理総合におすすめの副教材



アトラスワーク

B5判・48頁(別冊解答付)
定価：440円(税込)

地図帳を開きながら、地理の授業で
重要となる地名などを書き込んでいく
ドリルです。本文中の解説も多彩であり、
世界を旅する感覚で地名を覚える
ことができる1冊です。

自習・
宿題に



白地図ワーク

B5判・56頁(別冊解答付)
定価：本体 462円(税込)

白地図での書き込みや色ぬりなどの作業が
主となるワークブックです。系統分野や世
界の各地域の白地図を収録しており、作業
を通じて**分布の特徴が頭に入り、地理的な
見方・考え方が身につく**1冊です。

予習・
復習に

10

① 地形と生活文化

教科書 p.56 ~ 57

1 変動帯とプレート

Basic

1 変動帯とプレート

a. 地形をつくる力

- ・ (① **内の営力**) : 地球内部の熱エネルギーによる力
 - ・ 土地を隆起、沈降、移動させたり、(② **火山**) 活動をおこしたりする
 - ・ 大陸部には標高の高い山脈、海洋には、(③ **海溝**) や (④ **海嶺**) がみられる
 - ・ (⑤ **変動帯**) : 内の営力が強く働く地帯
 - 地殻変動や (⑥ **地震**)、火山の (⑦ **噴火**) が多発
- ・ (⑧ **外的営力**) : 太陽エネルギーと地球の重力をエネルギー源とした力
 - ・ 水の流れや、氷河の動き、風などが地形を (⑨ **侵食**) する
 - ・ 土砂が (⑩ **運搬**) され (⑪ **堆積**) する
 - 地形をなだらかにしていく

● 指導のポイント

地球規模で地形を把握させることがポイントになる。グーグルアースを用いるなどして海底地形も含めた地形とプレート境界との関係や地震・火山との関係を理解させる。

● 指導のポイント

地形を形成する力には内の営力と外的営力がある。侵食の漢字は「侵」を用いる。

b. プレートテクトニクス

- ・ (⑫ **プレート**) : 地球表面を厚さ数十～100kmの岩盤で覆っている
- ・ (⑬ **プレートテクトニクス**)
 - ：十数枚のプレートが地球内部の対流により移動するという考え
- ・ プレート境界＝四つの型がある

山脈 プレートの衝突 → プレートの動き	・ (⑭ 狭まる境界) : 二つのプレートが近づくところ ・ (⑮ 衝突帯) : 大陸プレート同士がぶつかりあう ヒマラヤ山脈やアルプス山脈などの大山脈
火山 海溝 地殻 プレート	・ (⑭ 狭まる境界) : 二つのプレートが近づくところ ・ (⑯ 沈み込み帯) : 大陸プレートの下に海洋プレートが 沈み込み、(③ 海溝) を形成
海嶺 地殻 やわらかいマントル プレート	・ (⑯ 広がる境界) : 二つのプレートが離れるところ ・ 地下のマントルが上昇し、 海底では (④ 海嶺)、 地上では (⑧ 地溝帯) ができる
トランスフォーム断層 地殻 プレート	・ (⑰ ずれる境界) : 二つのプレートが互いに行き交う境界 ・ 大きな断層や地震の多発地帯

- ・ (⑳ **安定地域**) : プレート境界から離れたところ
- ・ なだらかな地形、地震や火山の噴火はほとんどない

Words

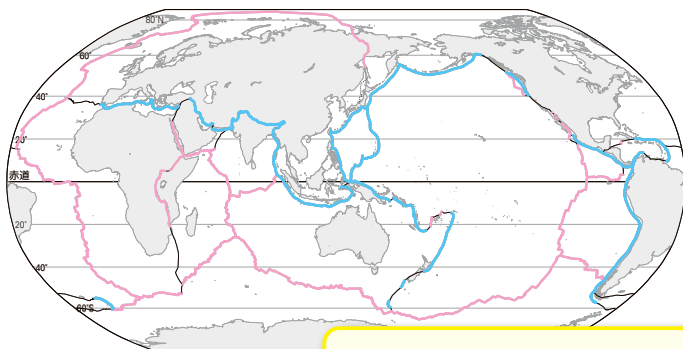
安定地域 運搬 海溝 外的営力 海嶺 火山 地震 沈み込み帯 衝突帯 侵食
ずれる境界 狭まる境界 堆積 地溝帯 内の営力 広がる境界 プレート
プレートテクトニクス 噴火 変動帯

22

授業の予習や復習に 毎時間活用できるワークブック

Work & Challenge

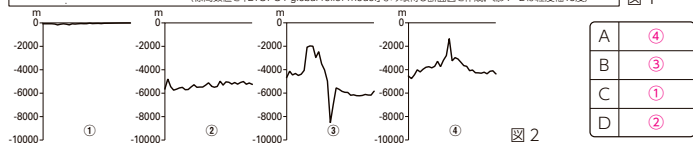
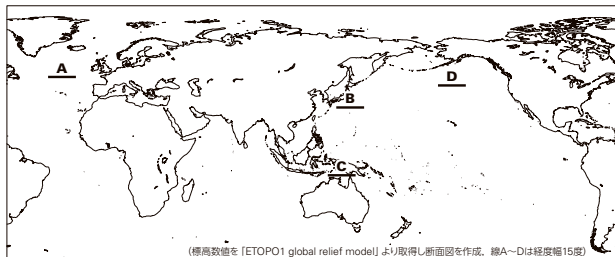
課題 A 教科書の図を見て、次の世界地図に、広がる境界を青で、狭まる境界を赤でなぞろう。



— 狭まる 境界 (A) — 広がる 境界 (B)

右ページには、作業問題や、教科書に関連した設問を入れました。

課題 B 下の図 2 は、図 1 中の線 A～D のいずれかに沿った海底地形断面図である。それぞれの線に沿った海底地形断面図を①～④から選ぼう。(2017 年センター試験・地理 B を改題)



Memo 考えさせるヒント：

世界は、プレート境界の位置から変動帯とそうでない地域に分かれます。日本は四つのプレートの境界に位置する世界では珍しい地域に位置します。ヨーロッパやアメリカ東部などは大きく異なることに気づかせたいところです。日本と同じようにプレート境界に近いニュージーランドやチリなどは変動帯に属し、地震や火山の多い国ということになります。Google Earth を用いると、3D で鮮明に大地形の違いを理解させることができます。

23

提出時に確認できるように、学習した日を記入し、スタンプを押す欄を設けました。

「Work & Challenge」 (作業と問題) を右側に配置

教科書に掲載している図版 (地図、グラフなど) を用いた色塗り作業と、教科書に関連する設問を掲載しています。さまざまな作業を通して、地理的知識・技能を無理なく身につけることができます。

★ご採用特典★

準拠版ワークブックをご採用いただいた学校に採用特典データをご用意しています。

・紙面テキスト

ワークブックと同等の内容が入り、自由に編集して使うことができる Word ファイルです。

・紙面PDF (解答・解説あり/なし)

穴埋めの解答だけでなく、作業例や指導のポイントを丁寧に解説した指導者用朱書き解説のPDFです。

・対応スライド

左ページの基本用語の整理を中心とする授業用を用意しています。

※この紙面のWordファイル、解答・朱書き解説は、書籍には含まれていません。



データブック オブ・ザ・ワールド
2025年版 Vol. 37

A5判・496頁
定価：803円(税込)

自然環境・産業・貿易・経済など、多くの分野を網羅した「統計要覧」と、全独立国の情報を網羅した「世界各国要覧」の二部構成になっており、**国調べ**など、**国際理解学習**にも活用されています。

国際
理解に



地理統計要覧
2025年版 Vol. 65

A5判・160頁
定価：440円(税込)

最新データをもとに整理・分類した統計書のロングセラーです。コンパクトな体裁ながら、多くの分野について情報を掲載しています。検索しやすい分野別構成になっており、**地理総合での調べ学習**にもおすすめです。

調べ
学習に

地理総合 改訂版

教師用指導書 朱書き編

地総 081-901 準拠

B5判・246頁・4色刷



ポイント① 「学習の流れ」をスムーズに！

イントロからまとめまで、1授業時の授業展開をわかりやすく提示しました。

ポイント② 主題図や統計、本文の背景、読み解くポイントを明確に！

図や写真、本文の着目点や、考察のヒントを、朱書きにより丁寧に説明しました。

ポイント③ 基礎事項を簡潔にまとめた「板書例」！

準拠版ワーク、授業用スライドとも連動し、見開きの要点を簡潔にまとめました。

学習のねらい・学習の流れ・導入のポイント
各単元で学ぶべきこと、授業全体の流れを
わかりやすくまとめています。

板書例
デジタルコンテンツ集のPowerPointでも、
同様の板書例を用意しています。

第1章 ① 球面上の世界

3 平面的な地図で世界をとらえる

学習のねらい

- 図面によって表される世界図の特色をとらえ、大規模な図面と世界に於ける日本の位置を理解する。
- スケール、縮尺、図面を正確に読みとる方法、日本から見た世界と世界から見た日本の位置付けの違いについて考察する。

導入のポイント

まず地球儀やデジタル・アースではなく、平面地図で、世界と日本をとらえることによる意義があるのか、生徒に問い立てる。ここでは平面地図が世界の地図に於いてどのような役割を担っているか、授業の中で様々な地図の活用方法を学んでいくことを予告する。

板書例

a. 世界全体をとらえた地図

- 日本では、世界地図の多くが日本を中心に描かれる。
- 日本は、太平洋を前にした海洋国家にみえる。
- 様々な地図で日本を比較する。

b. 日本からみた世界

- どこを中心に描くかによって、世界の見え方は変わる。
- 正方位図法：中心からの距離と方位が正しい。
- 大圏コース（任意の2地点の最短経路）が直線。
- 航空路線図として利用。
- 経緯線図法：北緯を中心とした正方位図法の地図。

c. 世界からみた日本

- 本初子午線を中心とすると、日本は東の端に。
- 東経135度線を中心とすると、ヨーロッパは西の端に。
- 地図を描くとき：目的に応じて適切な図法を選ぶ。
- メルカトル図法：面積が歪み隠れる。

イントロ

まず地球儀やデジタル・アースではなく、平面地図で、世界と日本をとらえることによる意義があるのか、生徒に問い立てる。ここでは平面地図が世界の地図に於いてどのような役割を担っているか、授業の中で様々な地図の活用方法を学んでいくことを予告する。

導入のポイント

まず地球儀やデジタル・アースではなく、平面地図で、世界と日本をとらえることによる意義があるのか、生徒に問い立てる。ここでは平面地図が世界の地図に於いてどのような役割を担っているか、授業の中で様々な地図の活用方法を学んでいくことを予告する。

板書例

a. 世界全体をとらえた地図

- 日本では、世界地図の多くが日本を中心に描かれる。
- 日本は、太平洋を前にした海洋国家にみえる。
- 様々な地図で日本を比較する。

b. 日本からみた世界

- どこを中心に描くかによって、世界の見え方は変わる。
- 正方位図法：中心からの距離と方位が正しい。
- 大圏コース（任意の2地点の最短経路）が直線。
- 航空路線図として利用。
- 経緯線図法：北緯を中心とした正方位図法の地図。

c. 世界からみた日本

- 本初子午線を中心とすると、日本は東の端に。
- 東経135度線を中心とすると、ヨーロッパは西の端に。
- 地図を描くとき：目的に応じて適切な図法を選ぶ。
- メルカトル図法：面積が歪み隠れる。

中央に配置した教科書のカラー紙面

授業の展開や図表・写真の着目点を、紙面に朱書きで重ねて説明しています。

図00のヒント

地球儀やデジタル・アース（デジタル地球儀）では、一方から見て、世界のすべての地域を把握することはできない。しかし平面地図では、世界全体を一目で見ることもできる。世界を正確に大規模に表現するために、2Dの平面地図に投影して作られたものであるため、面積、方位、距離、角度などの基本情報すべてが正しい地図はない。そのため、使用する際には、それぞれの地図の正確な投影の仕方を知り、適切な図法を選ぶ必要がある。

写真・図・豆知識・情報源の解説
教科書には載せきれなかった具体的な情報
を補足しています。

「まとめと考察」のヒント
探究学習を行う上での手がかりとなるヒント
を掲載しています。

地理総合共通

B5判・120頁・1色刷



地理704 地理総合 世界に学び地域へつなぐ

加算706 わたしたちの地理総合 世界から日本へ

103

山川出版社

全ての系統分野と国際理解の 10 事例地域を網羅し、汎用性の高い内容です。

わかりやすく簡潔な解説により、地理専門外の先生をしっかりとサポートします。

教科書に書ききれなかった地理的背景や現在の動向などを、詳しく解説しました。

各系統地理分野・事例地域についての授業で想定される主題学習の例を示しています。

地誌 704 p.128 ~ 137
地誌 705 p.62 ~ 63, 112 ~ 117

1 自然環境

ヨーロッパの地形

ヨーロッパの気候

66 — 第3章 世界各地の生活文化

2 言語・宗教・文化

ヨーロッパの宗教

一方、イスラームはボスニア・ヘルツェゴビナやアルバニアなど、バルカン半島の一部に集中して分布する。なお近年、2011年からのシリア騒乱などの影響で、ドイツ・イギリス・イタリア・フランスを中心にヨーロッパ全地にイスラーム圏からの移民が流入し、ムスリムの人口が激増しており、それに対応するケースも増えているカリック教会が、モスクに転用されるケースも増えている。

ヨーロッパの言語

ヨーロッパでは、**インド＝ヨーロッパ語族**のなかの**ゲルマン語派**、**ロマンス語派**、**スラヴ語派**が三大言語グループである。**ゲルマン語派**は中部と北部、**ロマンス語派**(ラテン語)は西部と南部、**スラヴ語派**は東部に広く分布している。それ以外に、インド＝ヨーロッパ語族に属さない、独立した地域域もある。フィンランド、バルト三国、ハンガリーなどである。ハンガリーでは国民の大半が、**ウラル語族**に属する**ハンガリー語**(**マジャール語**)を話すが、インド＝ヨーロッパ語族を用いる地域に囲まれ、「言語島」と呼ばれている。なお、**ゲルマン語派**は**プロテスタント**、**ロマンス語派**は**カトリック**、**スラヴ語派**は**正教会**を信じる者が多いなど、言語と宗教には密接の関わりがある。

4 今後と課題

EUの拡大過程

ユーロの導入期とシェンゲン協定

また、検問なしで国境をこえられるシェンゲン協定の実施国も、加盟国の大半にのぼる。EU加盟国でも、アイルランドやルーマニアなどは協定未実施であり、逆にEUの加盟国ではないノルウェー、アイスランド、スイス

EUの地域的な経済格差

EUの地域的な経済格差

イギリスのEU 離脱

移民・シリア難民

ハガンス・リポート

ヨーロッパでは世界で最もバカンス制度(長期休暇制度)が発達している。その受け皿として海岸リゾートやスキーリゾートの整備が進んできた。夏と冬には中心地域からリゾートへの移動が活発になる。大都市の郊外農村では、田園生活を楽しむ人々を受け入れている。

参考
圖書

- ▶ 藤井良広『EUの知識(第16版)』, 日本経済新聞出版, 2013年
やや古い内容の部分もあるが, EUの全体像を短時間で理解する際に有用な新書。
- ▶ 坂井一成・八十田博人編著『よくわかるEU政治』, ニルヴァ書房, 2020年
EUの政治を部門・項目別に, さらに地域別にわかりやすく説明した良書。
- ▶ 嶋田巧他編著『危機の中のEU経済統合:ユーロ危機、社会的格差、ブレグジット』, 文眞堂, 2018年
EUの経済統合の歴史や現状の解説に加え、ユーロ危機、社会的格差、ブレグジット、アジア

用語解説にとどまらず、各分野の基本事項について、要点を整理して丁寧な解説。

各系統地理分野・事例地域の基礎的な概念や最新事情を得るのに役立つ良書を紹介。

指導者用デジタル教科書（教材）・ 学習者用デジタル教科書



- ・指導者用デジタル教科書は、教師用指導書とのセット販売のみとなり、指導者用デジタル教科書単体での販売は行いません。
- ・地理総合のデジタル教科書は、「クラウド版」のみの販売となります。

●デジタル教科書 商品概要（予定）

	指導者用 デジタル教科書（教材）	学習者用デジタル教科書
提供方法	クラウド版	
使用期間	教科書ご利用期間内	教科書ご利用期間内
クラウド版 ライセンス形式	学校内フリーライセンス	1ユーザー1ライセンス
利用端末 動作保証環境	● iPad OS ブラウザ：Safari ● Chrome OS ブラウザ：Google Chrome ● Windows 11 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome	
基盤システム	みらいスクールプラットフォーム	

地理授業用の独自機能を搭載！！

Google Earthの地形動画、レイヤ切替地図、
地理院地図表示機能などを搭載予定です。

『令和8年度教師用指導書目録』掲載予定商品一覧

地理総合の教師用指導書関連教材は、下記のセット内容で販売を予定しています。

商品ラインナップ	教師用指導書セット			指導者用 デジタル 教科書 ※2	ICTライブラリ 法人向け 定額制コース （1年間） ※3
	朱書き編	解説編	デジタル コンテンツ集 ※1		
教師用指導書 朱書き編					
教師用指導書 解説編					
教師用指導書 デジタルコンテンツ集	●	●	●	●	●
指導者用デジタル教科書					
ICTライブラリ法人向け定額制コース（1年間）					
教師用指導書 朱書き編					
教師用指導書 解説編	●	●	●	●	
教師用指導書 デジタルコンテンツ集					
指導者用デジタル教科書					
教師用指導書 朱書き編	●	●	●		
教師用指導書 解説編	●	●	●		
教師用指導書 デジタルコンテンツ集	●		●		
教師用指導書 朱書き編	●		●		
教師用指導書 デジタルコンテンツ集	●		●		
教師用指導書 朱書き編（書籍単体）	●				
教師用指導書 解説編（書籍単体）		●			
教師用指導書 デジタルコンテンツ集（データ単体）			●		

【注意】

※1 教師用指導書「デジタルコンテンツ集」は地理総合教科書2点、歴史総合教科書3点のすべてのデジタルコンテンツが収録されています。

※2 「指導者用デジタル教科書」はご採用いただいた教科書のみご利用いただけます。

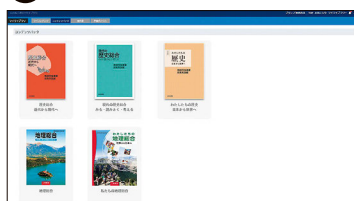
※3 「ICTライブラリ法人向け定額制コース」を現在ご契約中の学校様は、重複するためご購入いただけませんのでご注意ください。

教師用指導書デジタルコンテンツ集は、
地理総合・歴史総合 計5点分のコンテンツをすべて収録！

- ・『教師用指導書』デジタルコンテンツ集は専用のダウンロードサイトから提供いたします。
- ・教科書の目次からコンテンツを簡単に探せるようになり、必要なコンテンツをすぐにダウンロードできます。

ダウンロードの手順

① トップ画面で教科書を選択



② 教科書から章を選択



③ 章からカテゴリを選択



④ 必要なデータをダウンロード



※画像はイメージです。制作中のため一部変更の可能性がございます。

■ 地理総合 改訂版 デジタルコンテンツ一覧 (予定)

	教材	形式	内容
授業準備・授業	教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面データ
	指導書紙面	PDF	指導書全ページの紙面データ
	教科書本文テキスト	txt	教科書本文・コラム・図表解説のテキストデータ
	教科書掲載図版データ	PNG	教科書全図版のカラー、モノクロ、モノクロ文字なしの画像データ
	レイヤ分け地図データ	PDF	教科書のおもな主題図について、凡例ごとに表示内容を選択できる地図データ
	白地図	PNG	プリント用・黒板用の画像データ
	授業用スライド	PowerPoint Googleスライド	教科書の各単元の内容に合わせて図・写真などを配置したスライド
	アクティビティ教材	PowerPoint/ Word/PDF	教科書のアクティビティ教材。指導の手引きやスライド、ワークシート、評価規準表など
	教科書読図ワークシート	Word, PDF	教科書の作業プリント。読図や色ぬりの作業問題は解答例を掲載
	準拠版ワーク対応スライド	PowerPoint Googleスライド	準拠版ワークの内容に合わせて図・写真などを配置したスライド
	準拠版ワーク紙面	PDF	準拠版ワークの紙面データ(解答・解説あり/なし)
	準拠版ワークテキスト	Word	準拠版ワークのテキストデータ
授業・評価	Google Earth 動画	MP4	GoogleEarthStudioにより作成した世界と日本の典型的な地形を鳥瞰する動画
	知識確認問題	Wordほか	各テーマごと、一問一答/選択式の問題
	定期テスト問題	Word	教科書単元ごとの教科書内容に沿った定期テスト問題例
	自己評価・振り返りシート	Word	自己評価や授業の振り返りが行えるプリント。ルーブリック・観点評価に対応
	大学共通テスト過去問題	Word	試作問題、2025年度、2026年度の問題を収録
	年間指導計画表・評価規準例	Excel	教科書のシラバス・評価規準。カリキュラムに合わせて編集・加工が可能

教師用指導書 デジタルコンテンツ集 内容紹介

専用ダウンロードサイトから提供いたします。教科書の目次から必要なコンテンツをすぐ探せるようになりました。

教科書紙面

pdf

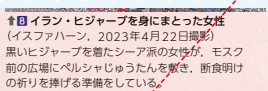
- 高解像度 (460dpi) の紙面データを収録
- 写真の細部まで詳細に表示可能



◆ 祈る人々 (バスラ, 2023年4月21日撮影)
日が休息日になっている。正午には集団礼拝が行われ、メッカに向かって祈る。



◆ ケシの旧市街 (2018年11月10日撮影)
男性も女性もジュババというロング丈の民族衣装ジュババには多様な色がある。

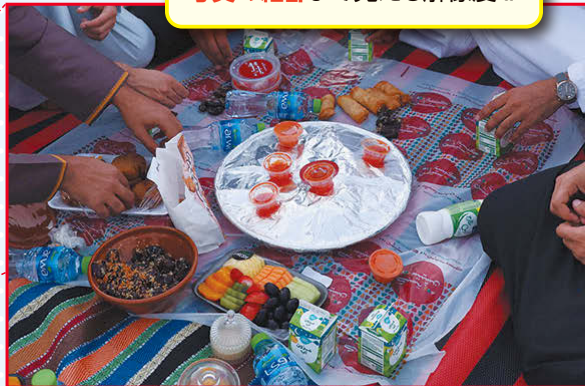


◆ イラン・ヒジャブを身にまとった女性 (イスファハーン, 2023年4月22日撮影)
黒いヒジャブを着たシーア派の女性が、モスク前の広場にペルシャじゅうたんを敷き、断食明けの祈りを捧げる準備をしている。



◆ オマーン・マハラジャ・マハラジャ (マスカット, 2022年4月12日撮影) オマーン人男性は、クマという独特の丸い帽子を被る。海洋帝国時代にアフリカのザンバリ島から伝わった。

写真の細部まで見える解像度 !!



教科書掲載図版

png

- カラー、モノクロ、文字なしの3種類
- モノクロ化の際、色数の多い図版は、網掛けやパターンなどを用いて塗り分け

授業用スライド

pptx

- 教科書の単元ごとに構成
- 要点を整理し、学習のポイントを明示
- 授業スタイルにあわせてアレンジが可能

ラテンアメリカの農業

Question : 二つの写真からは、どのような地理的要素が読み取れる？



ブラジルの大豆畑



エクアドル・オタバロの土曜市

写真による問いかけを掲載！

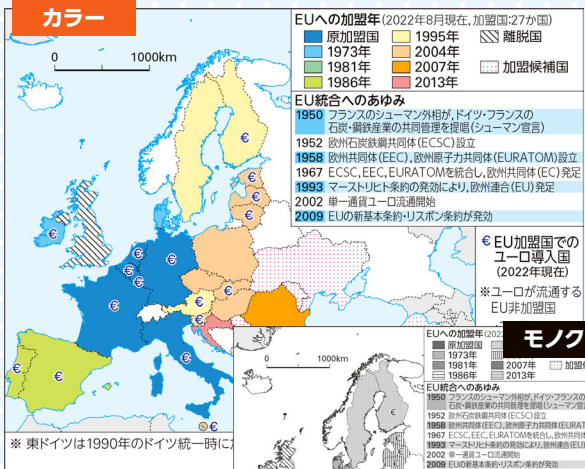
緯度による自然と農業の変化

・ ラテンアメリカの農業：緯度により異なる気候条件に対応した農業

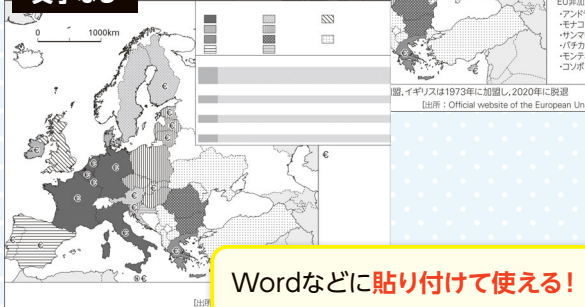


- ・ アマゾン川流域：熱帯雨林
- ・ 乾燥地によるキャッサバ栽培
- ・ 近年は伐採により大豆畑や牧場に
- ・ ブラジル南部の高原地帯
- ・ カンボと呼ばれる大草原
- ・ 大土地所有制 (コーヒー、さとうきび)
- ・ 平坦な草原のパンパ
- ・ 小麦、とうもろこしの栽培、牛の放牧

カラー



文字なし



準拠版ワーク、指導書朱書き編とも連動！

Wordなどに貼り付けて使える！

自己評価・振り返りシート

docx

- 学習の振り返り、生徒の自己評価に活用
- 主題学習の到達度を確認することが可能
- ルーブリック・観点別評価に対応

自己評価・振り返りシート		振り返り
その1 学習を振り返ってみよう		年 組 番 名前
第2章 地理的環境の特色		
3節 産業と生活文化 (P. 74-79)		
(主題) 私たちの暮らしを支える産業は、どのように発達し、変化していったのだろうか？ (この学習でわかったことを記入しよう)		
1	農業の発展と生活文化 【問い】地域の環境に適応したように発達していったのか	生徒にそのまま配布して使える！

生徒にそのまま配布して使える！

▼この単元での学習の到達度の評価基準▼

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
A (よく達成できた)	世界の産業の分布や特徴、その歴史的な発展・発達をとらえ、産業と生活文化の関わりが理解でき	世界の産業の分布やその要因、産業の特徴と地域性を考察したり、生活文化への関わりを地図や写真を用いて説明したりすることができた。	産業の構造や発展と生活文化の関わりについて、身近な商品や自分との関わりとしてとらえ、意欲的に追究することができた。
			自己評価

アクティビティ教材

docx

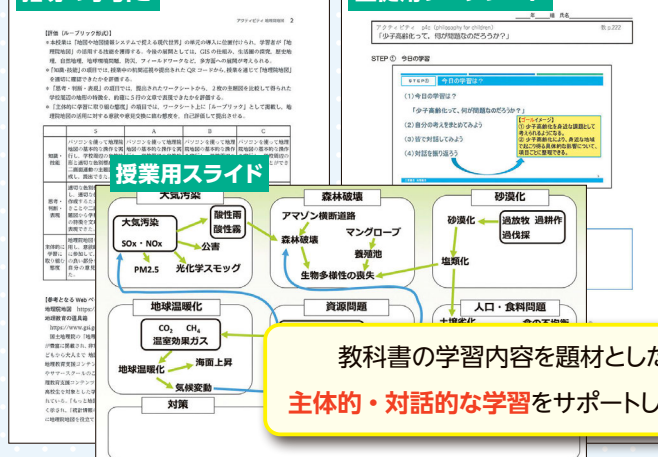
pptx

- 教科書を題材にしたアクティビティ教材
- 「指導の手引き」：目標、授業の流れ、評価の方法（ルーブリック方式）をわかりやすく記載
- 「生徒用ワークシート」：生徒に配布して使える
- 「授業用スライド」：豊富な資料を授業で提示

指導の手引き

生徒用ワークシート

授業用スライド



教科書の学習内容を題材とした

主体的・対話的な学習をサポートします。

Google Earth動画

mp4

- Google Earth Studioで作成
- 約2分の動画で典型的な小地形を俯瞰できる
- オフラインで使用が可能

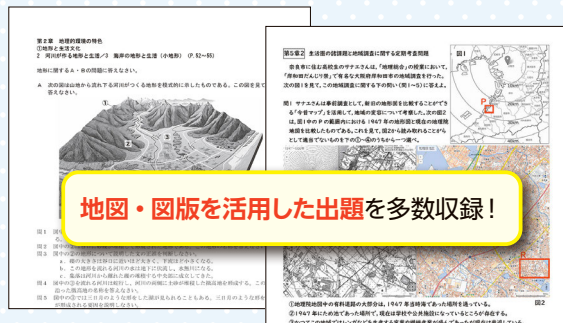


新作動画を収録予定！

定期テスト問題

docx

- 教科書の単元ごとに作問
- さまざまなパターンの出題形式
- 定期考査・小テスト用に改変が可能



地図・図版を活用した出題を多数収録！

知識確認問題

docx

- 地理総合の学習内容に対応
- 重要用語が確実に身につく
- 予習・復習プリント、小テストに最適

世界の生活文化 — アメリカ・カナダ	
【自然環境】 ① 北アメリカ大陸西部で北から南へ向いて、4000mを超える高峰が連続的にそびえる山脈は何山か。 ② カラコパツツ川を源流とするカラフォルニア州南西部で、全長1300kmにわたる大ア ③ マサチューセッツ州 ④ 太平洋沿岸 ⑤ アラスカ ⑥ 河口に形成 ⑦ ミシシッピ ⑧ この数百年間で大きく変化した地形を何というか。 ⑨ カラコパツツ川一帯にみられる気候は何気候か。 ⑩ アメリカ中部にあり、東部の暖帯気候と西部の乾燥気候の境界にたたる経線は何度か。 ⑪ アラスカにおいて、北部の冷帯気候と南部の温暖気候の境界にたたる緯線は何度か。 ⑫ フロリダ半島にみられる気候は何気候か。 ⑬ アラスカ州南部から大西洋沿岸部にかけて横断する熱帯気候帯は何というか。 ⑭ 大規模な氷河が形成された時期は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。 ⑮ この時代の氷河は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。 ⑯ この時代の氷河は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。	【自然環境】 ① ロッキンガム ② サンアンドレアス ③ 太平洋沿岸 ④ 太平洋沿岸 ⑤ アラスカ ⑥ 河口に形成 ⑦ ミシシッピ ⑧ この数百年間で大きく変化した地形を何というか。 ⑨ カラコパツツ川一帯にみられる気候は何気候か。 ⑩ アメリカ中部にあり、東部の暖帯気候と西部の乾燥気候の境界にたたる経線は何度か。 ⑪ アラスカにおいて、北部の冷帯気候と南部の温暖気候の境界にたたる緯線は何度か。 ⑫ フロリダ半島にみられる気候は何気候か。 ⑬ アラスカ州南部から大西洋沿岸部にかけて横断する熱帯気候帯は何というか。 ⑭ 大規模な氷河が形成された時期は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。 ⑮ この時代の氷河は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。 ⑯ この時代の氷河は、現在よりも温暖な気候であった時期を指している。

地理総合に対応した約1000問を収録！

年間指導計画表 作成資料

※ 年間授業時数を35週(35×2)、全70時と設定。2学期/3学期制を考慮し、それぞれの指導計画を提示しています。 ※50時版はExcelに収録

学習の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
使用教材	教科書：「地理総合改訂版」「詳解現代地図 改訂版」 副教材：「地理総合改訂版ワークブック」「アトラスワークブック」		

章	節	項	学習内容とねらい	配当時						
				月	時数	授業時	2学期	3学期		
1 地図とGISの活用	導入：進化する「もう一つの地球」の描き方		・地図とGISの歴史と発展について学び、地図とGISを正しく活用する技能を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。	4月	6					
	1 球面上の世界	1.球面的思考で地球上の位置をとらえる	・地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。			1				
		2.地図を利用して世界の時刻をとらえる	・経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。			2				
		3.平面的な地図で世界をとらえる	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解する。			3				
	2 地図とGIS	1.身のまわりの地図を集める	・身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉え、地図情報の有用性を理解する。			4				
		2.国土の基盤としての地理院地図の活用	・地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識する。			5				
		3.GIS・GNSSのしくみと地理空間情報の活用	・GISが日常生活にも利用されている実例を捉え、大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解する。	6						
	アクティビティ① アニメの聖地マップを作ろう。		・地理院地図などのGISを用いて、身近な地域を歩くルートを示し、ルートの見どころを紹介する「散歩地図」を作成する。			7				
	3 国家の領域と国際関係	1.国家の成り立ちとその領域	・グローバルな立場から日本の領域を理解するために、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	5月	8	8				
		2.海洋国家としての日本の領域・周辺水域				9				
		3.日本の領域に関する問題	・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら課題解決のための方策を多面的・多角的に考える。			10				
		4.国と国との結びつきと国際協力				11				
	4 人・モノ・情報のつながり	1.狭くなる地球～交通の発達	・グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。			12				
		2.人のつながり～観光の発達	・交通、観光、貿易、通信の視点から、人やモノ、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。			13				
3.モノのつながり～貿易の発達					14					
4.情報のつながり～通信の発達										
1章のまとめ		・地図とGISに関する「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」について振り返りをする。								
2 地理的環境の特色	導入：自然と人間が織りなすカラフルな世界		・世界の自然環境・社会環境について学び、世界の生活文化について考察する技能を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。	6月	6		15			
	1 地形と生活文化	1.変動帯とプレート	・世界の大地形の広がりからプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解する。			16				
		2.河川がつくる地形と生活	・河川、海岸などの水による外的営力、氷河、乾燥、サンゴ礁、石灰岩の溶食などによる地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。			17				
		3.海岸の地形と生活				18				
		4.さまざまな環境で形成される地形と生活				19				
	2 気候と生活文化	1.大気の流れ	・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。	7月	6	20				
		2.気候の地域性				21				
		3.植生と気候区分	・世界の植生への理解をもとに、降水量と気温の特徴をふまえながら世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。			22				
		4.熱帯の自然環境と生活	・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や、各気候帯の気候区分図、雨温図などの資料から考える。			23				
		5.乾燥帯の自然環境と生活				24				
		6.温帯の自然環境と生活				25				
		7.亜寒帯・寒帯の自然環境と生活				26				
	アクティビティ② 料理を通して生活文化について考えよう。		・レモンを題材に統計資料を読み取り、食材の起源と伝播を理解を深め、料理を通じて世界各地の食文化に興味・関心を高める。			19				
	3 産業と生活文化	1.農業と生活文化	・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解する。	9月	7	27				
		2.農業の発展と生活文化の変化	・産業の発達と生活文化がどのようにかわるのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。			28				
		3.工業の発展と生活文化				29				
		4.商業・サービス業の発展と生活文化				30				
	4 宗教・言語と生活文化	1.宗教の広がりとは生活文化	・世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに、分布を示す要因を理解する。			31				
		2.言語の広がりとは生活文化	・国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考える。			32				
		3.生活文化の画一化と多様化				33				
	2章のまとめ		・地理的環境（自然環境・社会環境）に関する「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」について振り返りをする。							
3 世界各地の生活文化	導入：水が育む人々の多様な生活文化		・水に着目して世界の多様な生活文化について学び、「自然」「社会」「経済」「開発」の4つのテーマから考察する技能を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。	10月	6 (自然・文化を選択)					
	1 経済発展と生活文化の変化～東アジア	導入～1.経済発展を支える自然・農業と生活文化	・社会経済システムの変化に焦点を当て、東アジアの中国と韓国を例に両国の特徴を主題図やグラフなどの資料を通じて捉える。			40				
		2.市場経済化と生活文化の変化～中国	・特に世界や日本、中国、韓国の3か国とのつながりから両国の経済発展の発達過程について理解し、経済発展の結果として起きている様々な問題について生活文化と対応させながら考える。			41				
		3.輸出による発展と生活文化の変化～韓国				42				
		4.経済発展による変化と課題				43				
	2 宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国	導入～1.東南アジアの成り立ちと多様な民族	・多民族社会と地域統合に焦点を当て、様々な言語や宗教をもつ東南アジアの人々の生活文化にはどのような特色がみられるのか、主題図や写真などの資料をもとに理解する。			36				
		2.産業の発展と生活文化への影響	・特に仏教、イスラーム、キリスト教の各文化圏における生活文化の多様性や多言語・多民族社会の様子、また豊かな資源を背景に経済発展を遂げた東南アジアの現状と課題について考える。			37				
		3.経済連携を通してつながる東南アジア				38				
	3 モンスーンの恵みと生活文化～南アジア	導入～1.多様な気候と生活文化	・水資源に焦点を当て、地形、気候などの自然環境を捉えながら、南アジアの水資源と宗教、農業、文化や産業の成立の関わりを主題図やグラフなどの資料を通じて理解する。					34		
		2.経済成長と自然環境の変化による課題	・経済成長を背景とした水資源の課題を周辺国とのつながりから考える。					35		

第3章は、「自然」「社会」「経済」「開発」からそれぞれ1事例を選択して学習します。

3	世界各地の生活文化	4 イスラム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	導入～1.乾燥地域とイスラームの社会 2.経済発展とイスラームの社会の変化 3.イスラーム圏の現状と課題	・イスラームに焦点を当て、気候条件、宗派の違い、聖地メッカからの距離、エネルギー資源の有無などを基盤とした経済水準の違いについて理解する。 ・ムスリムの生活文化に差異をもたらしている要因を主題図や写真などの資料をもとに考える。 ・社会問題の例として、少数民族の問題を民族・言語の分布から理解するとともに、地域紛争や民主化運動の背景について、地域構造を俯瞰して考察する。	10月(続き)	36 37 38 34 35	2学期中間(続き)
		5 多様な自然の恵みと生活文化～アフリカ	導入～1.多様な気候と生活文化 2.経済成長と自然環境の変化による課題	・自然環境と生活文化の対応とその多様さに焦点を当て、多様性に富む自然環境や食文化や、資源開発などを背景とした近年の経済成長について主題図や写真などの資料を通して理解する。 ・経済成長や開発などを背景としたアフリカの課題を、自然環境と生活文化の関わりから考える。			
		アクティビティ③ 旅行計画を立ててみよう。		・旅行計画を立てて景観写真を比較することで、旅行を通じて世界各地の衣食住に興味・関心を高める。		39	
	世界各地の生活文化	6 経済統合による生活文化の変化～EUと周辺諸国	導入～1.経済発展の礎となった自然環境と農業 2.産業・交通の発達による一体化と生活文化 3.統合の背景と課題	・産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴やその歴史的背景を捉え、気候、言語・宗教の分布などを関連させながら主題図やグラフなどの資料をもとに理解する。 ・地域統合の長所とともにイギリスのEU離脱や加盟各国の移民排斥の動きの強まりなどの課題を整理する。 ・地域間格差が生じている現状を捉え、これからのヨーロッパのよりよい社会を目指して課題について考える。	11月	40 41 42	後期中間(続き)
		7 寒冷地の開発と生活文化～ロシアと周辺諸国	導入～1.寒冷な大地の生活と産業開発 2.寒冷地の開発による成長と課題	・寒冷な環境下での開発に焦点を当て、ロシアを例に主題図やグラフなどの資料をもとに気候に制約を受ける農業など、自然環境と人々の生活との対応を理解する。 ・豊富な鉱物資源を背景にしたヨーロッパ諸国と日本など東アジアとの結びつきや、ウクライナ紛争や開発に伴う課題と変化について考える。		34 35	
		8 グローバル化による生活文化の変化～アングロアメリカ	導入～1.経済発展の基盤となった社会の多様性 2.大規模な農業とグローバルな食文化 3.グローバル化による変化と課題	・社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、主題図や写真などの資料を通じて、民族構成から多様な社会と歴史的背景を理解する。 ・企業の農業の発達とアメリカ合衆国の外食産業やICT産業などの多国籍企業が世界の経済や生活文化に影響を与えている現状を捉える。 ・アメリカ合衆国の貿易の問題についてグローバルな視点で考える。		40 41 42	
4	世界各地の生活文化	9 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	導入～1.開発による農牧業の発展と生活文化 2.開発による発展と社会にみられる課題	・開発に焦点を当て、ラテンアメリカで様々な人々が生活している理由やプランテーションをはじめ農業や鉱業などの産業の多様性がみられる理由について、主題図やグラフなどの資料をもとに多様な自然環境や植民地時代の開発の影響、そして近年の社会経済システムの変化から捉える。 ・鉱工業が発展していく中で生じている貧富の差の現状を捉え、その解決に向けた取り組みを考える。	8月(経済・開発を選択)	43 44	2学期期末
		10 植民と移民による生活文化の形成～オセアニア	導入～1.植民による開発と生活文化 2.移民と多文化社会にみられる課題	・開発に焦点を当て、オーストラリア、ニュージーランド、島嶼国の自然環境の違いを比較し、主題図や写真などの資料から植民の歴史とそこに展開する産業を捉え、両国の生活文化の違いを理解する。 ・オーストラリアとニュージーランドの生活文化の歴史的背景や現状と将来について、周辺国とのつながりや先住民族、移民による多文化社会と関連づけて考える。		43 44	
		3章のまとめ		・世界各地の生活文化に関する「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」について振り返りをする。		45	
	地球的課題と国際協力	導入：相互に関連する地球的課題～SDGs		・地球的課題について学び、国際協力の観点から考察する技能を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。		46	後期期末
		1 地球環境問題	1.さまざまな地球環境問題 2.減少する熱帯林と進行する砂漠化 【SDGs】 気温上昇を1.5℃に抑えられる社会	・持続可能な地球社会を考えるうえで、地球規模で起きている環境問題は、一国だけで対応できるものではないこと、多面的・多角的に考えていくことが必要であること、自らがかわる問題であることをSDGsをふまえて認識する。 ・深刻な地球環境問題となっている気候変動について事例をあげて捉え、それぞれの影響と将来の予測から解決の取り組みについて考える。		47	
		2 資源・エネルギー問題	1.多様な資源とその課題 2.エネルギー資源の変化と課題 【SDGs】 資源やエネルギーが循環する社会	・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え、偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し、これらの解決のための取り組みをSDGsと関連づけて考える。		48 49	
		3 人口・食料問題	1.人口と人口問題 2.世界各地の人口問題とその背景	・人口が急増している世界の現状を捉えるとともに、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、人口問題の背景や問題点を整理する。	12月	51 52	
		4 食料問題	3.二つの食料問題とその背景 4.食料問題に対する様々な取り組み 【SDGs】 安全で多様なトイレを利用できる社会	・持続可能な社会をつくるために、飢餓とその要因である食料問題について、主題図やグラフなどの資料を集め、グローバル、ローカルのそれぞれ異なる視点から根拠をもとにSDGsと関連づけ対応策を構想する。 ・SDGsの理念である「誰も置き去りにしない世界」を実現するために、安全なトイレを事例として課題と未来を考える。		53 54 55	
		5 居住・都市問題	1.都市に成立と発展 2.都市の人口集中と問題 3.都市の成熟と再開発 【SDGs】 移民・難民と地域が共存する社会	・世界では都市に人口が集まる現象がみられることを主題図やグラフから読み取り、人口が集まる都市内部の構造を景観をふまえて理解する。 ・途上の大都市を中心に人口集中に伴う問題が生じていることを捉え、問題の要因を理解しながら、都市の問題の改善を目指した都市計画を取り上げ、SDGsと関連づけ都市問題の解決策を考える。 ・紛争や対立を抱える地域を事例として、移民・難民と共生する社会について考える。		56 57 58 59	
		4章のまとめ		・SDGsの理念である「誰も置き去りにしない世界」を実現するために、安全なトイレを事例として課題と未来を考える。		60	
5	生活圏の諸課題	1 日本の自然環境と防災	導入：世界地図でとらえる自然災害のリスク 1.世界からみた日本の地形の特色 2.世界からみた日本の気候の特色 3.地震・津波と防災 4.火山の噴火と防災 5.風水害と防災 6.都市型災害への備え 7.地域防災と復興	・日本の自然環境と防災について学び、災害リスクに備える正しい防災の技能を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。 ・日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに、多様性や自然の恵みがあることを認識しながら、自然災害を与える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため、地震・津波、火山、風水害、都市型の災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関係しているのか、それに対する備えはどうすれば良いのか考え、居住地域での防災・減災意識の向上につなげる。	1月	61 62 63	学年末
		アクティビティ④ 身近な地域の災害リスクに備えよう。		・地理情報を活用し、災害発生のある際の被害回避の方法を考える。		64	
		2 生活圏の諸課題と地域調査	導入：地理の方で地域の魅力発見や課題にチャレンジしよう。 1.スクールを変えて見る地域の特徴と課題 2.地域調査① パーチャルとリアルでの景観観察 3.地域調査② 現地での聞き取り調査とまとめ	・地域調査の方法について学び、現地調査や発表に関する手法を習得し、思考力・判断力・表現力を養う。 ・日本が抱える地域的な課題について、身近な地域を例に取り上げ、人口の少子高齢化、過疎化について景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につける。 ・現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につける。 ・調査結果をもとに、地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する。	2・3月	65 66 67	
		アクティビティ⑤ 地域調査の結果を発信しよう。		・地域調査のポスター、プレゼンテーション、報告書を作成し、発表する。		68 69 70	

評価規準案

教科書特設サイトに同内容のExcelファイルを用意しています。ダウンロードしてご利用ください。



章	節	項	授業時	評価の規準			評価方法
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 地図とGISの活用	1 球面上の世界	1.球面的思考で地球上の位置をとらえる	1	地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。	球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。	球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	自己評価・振り返りシート 調査
		2.地図を利用して世界の時刻をとらえる	2	世界地図の主な図法と利用について理解できたか。	世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。	様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。	
		3.平面的な視点で世界をとらえる	3				
	2 地図とGIS	1.身のまわりの地図を集める	4	GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。	身近な地図について、目的により表現方法の違いがあることが判断できたか。	身のまわりの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。	課題（GISによる地域分析） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.国土の基盤としての地理院地図の活用	5	地理院地図やWeb GISの機能を利用して、地理空間情報を活用できたか。	紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれ長所を考察できたか。	GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	
		3.GIS・GNSSのしくみと地理空間情報の活用	6	GISを活用して散歩地図を作成できたか。	身近な地域の特徴をふまえ、他者が見やすい地図になっているか。	GISの作業に意欲的に取り組み、オリジナルの地図が作成できたか。	課題（散歩地図の作成）
	アクティビティ① アニメの聖地マップを作ろう。		7				
	3 国家の領域と国際関係	1.国家の成り立ちとその領域	8	国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。	日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。	日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	課題（統計地図の作成） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.海洋国家としての日本の領域・周辺水域	9				
		3.日本の領域に関する問題	10				
		4.国と国の結びつきと国際協力	11				
	4 人・モノ・情報のつながり	1.狭くなる地球～交通の発達	12	人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。	複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。	統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。	課題（統計地図の作成） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.人のつながり～観光の発達	13	統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。	地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。	統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。	
		3.モノのつながり～貿易の発達	14				
		4.情報のつながり～通信の発達	15				
2 地理的環境の特色	1 地形と生活文化	1.変動帯とプレート	16	地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。	世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。	地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。	課題（地形断面図の作成） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.河川がつくる地形と生活	17	地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。	生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。	各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。	
		3.海岸の地形と生活	18				
		4.さまざまな環境で形成される地形と生活	19				
	2 気候と生活文化	1.大気の大循環	20	大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。	世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。	雨温図や写真の判読を通して、世界の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。	課題（雨温図・ハイサーグラフの作成） レポート（世界の気候と生活のつながり） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.気候の地域性	21	各気候の分布の特徴を理解できたか。	気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。	雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	
		3.クベンの気候区分	22	熱帯の自然環境と生活	写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。		
		4.乾燥帯の自然環境と生活	23	乾燥帯の自然環境と生活			
		5.温帯の自然環境と生活	24	温帯の自然環境と生活			
		6.亜寒帯・寒帯の自然環境と生活	25	亜寒帯・寒帯の自然環境と生活			
	アクティビティ② 料理を通して生活文化について考えよう。		26	統計資料を活用して主題図を作成できたか。	レモンの伝播経路を文章から読み取り、他者に伝えることができたか。	各国料理のレシピに関心もち、自ら料理を調べることにできたか。	課題（世界の料理を調べる）
	3 産業と生活文化	1.農業と生活文化	27	世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。	自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。	身近な商品が世界規模の産業構造のなかで位置づけられることを意欲的に探究できたか。	発表（身近な商品と国際的な流通） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.農業の発展と生活文化の変化	28	主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。	世界の産業の変化をグローバル化の観点から考察できたか。	産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	
		3.工業の発展と生活文化	29				
	4 宗教・言語と生活文化	1.宗教の広がり	30	世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	レポート（文化の画一化と多様化について） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.言語の広がり	31	主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	国際化による現代の生活文化の変化について、事例を自ら調べまとめることに、意欲的に取り組めたか。	
3 世界各地の生活文化	1 経済発展と生活文化の変化～東アジア	導入～1.経済発展を支える自然・農業と生活文化	32	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	レポート（文化の画一化と多様化について） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.市場経済化と生活文化の変化～中国	33	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
		3.輸出による発展と生活文化の変化～韓国	34	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
		4.経済発展による変化と課題	35	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
	2 宗教の多様性と生活文化～ASEAN諸国	導入～1.東南アジアの成り立ちと多様な民族	36	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	レポート（身近な商品と国際的な流通） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.産業の発展と生活文化への影響	37	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
		3.経済連携を通してつながる東南アジア	38	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
	3 モンスーンの恵みと生活文化～南アジア	導入～1.太陽な気候と生活文化	39	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	レポート（水問題と改善への取り組み） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.経済発展と自然環境の変化による課題	40	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
	4 イスラム社会の多様性と生活文化～イスラム圏	導入～1.乾燥地域とイスラムの社会	41	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	発表（イスラム圏の人々の生活） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.経済発展とイスラムの社会の変化	42	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
		3.イスラム圏の現状と課題	43	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
	5 多様な自然の恵みと生活文化～アフリカ	導入～1.多様な気候と生活文化	44	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	課題（課題をSDGsの観点で調べる） 自己評価・振り返りシート 調査
		2.経済成長と自然環境の変化による課題	45	国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。	生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。	世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。	
	アクティビティ③ 旅行計画を立ててみよう。		46	海外への旅行計画を作成できたか。	海外への旅行計画を他者にわかりやすく説明できたか。	オリジナルの旅行計画に意欲的に取り組み、作成することができたか。	発表（旅行計画の3分プレゼン）

章	節	項	授業時	評価の規準			評価方法	
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	6 経済統合による生活文化の変化 ～EUと周辺諸国	導入～1.経済発展の礎となった自然環境と農業	40	図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え、自然環境や言語、宗教と関連づけて整理できたか。	ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について、主題図をもとに考察できたか。	農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。	グループ協議（EUの統合と課題） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.産業・交通の発達による一体化と生活文化	41	産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。	EUへの加盟国と離脱する国があることをふまえ、EU統合に伴う生活への影響を考察し、今後の課題について資料をもとに協議できたか。	言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。		
		3.統合の背景と課題	42	言語や宗派の違いを乗り越えEUが統合する背景を理解できたか。				
	7 寒冷地の開発と生活文化 ～ロシア	導入～1.寒冷な大地の生活と産業開発	34	図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。	寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。	寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。	グループ協議（目露の模擬環境開発会議） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.寒冷地域の開発による成長と課題	35	周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。	日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。	経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。		
	8 グローバル化による生活文化の変化 ～アングロアメリカ	導入～1.経済発展の基盤となった社会の多様性	40	図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。	グローバルな観点からアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。	アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。	発表（アメリカの貿易体制と世界の人々の変化） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.大規模な農業とグローバルな食文化	41	経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。	産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。	アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。		
		3.グローバル化による変化と課題	42					
	9 土地の開発による生活文化の形成 ～ラテンアメリカ	導入～1.開発による農牧業の発展と生活文化	43	図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。	図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。	自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。	グループ協議（諸問題の現状と課題解決） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.開発による発展と社会にみられる課題	44	資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることでできたか。	資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。	都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。		
	10 植民と移民による生活文化の形成 ～オセアニア	導入～1.植民による開発と生活文化	43	図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。	2つの国の開発の背景を比較し、共通点と相違点を考察できたか。	2つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。	レポート（オセアニアと日本のつながり） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.移民と多文化社会にみられる課題	44	周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。	開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。	2つの国の課題を整理し、貿易や移民の変化を追究できたか。		
5	1 地球環境問題	1.さまざまな地球環境問題	45	持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。	世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。	地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	レポート（国際機関から地球環境問題を調べ） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.減少する熱帯林と進行する砂漠化	46	国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。	SDGsの目標をふまえ、海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。			
		【SDGs】 気温上昇を1.5℃に抑えられる社会	47	環境問題の現状を捉え、原因や影響を図解して整理できたか。	主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。	日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。	発表（身近な鉱物資源とこれからの利用） 自己評価・振り返りシート 調査	
	2 資源・エネルギー問題	1.多様な資源とその課題	48	主題図から資源の分布が偏んでいることを理解できたか。	主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGsの目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。	日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。	発表（身近な鉱物資源とこれからの利用） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.エネルギー資源の変化と課題	49	限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。				
	3 人口問題	1.人口と人口問題	51	世界人口の増加で生じる問題を世界の視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。	世界の人口問題の現状について、増加による課題、減少による課題の両面から資料をもとに考察し、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。	世界や主要国の人口の推移を捉え、他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。	グループ協議（フランスと日本の対策） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.世界各地の人口問題とその対策	52	人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。				
	4 食料問題	1.二つの食料問題とその背景	53	世界の食料問題を主題図などから現状を認識し、その自然的、社会的な背景を理解できたか。	飢餓と飽食の世界的な分布を主題図やグラフなどの資料から考察し、対策について協議できたか。	飢餓の問題と飽食の問題をそれぞれ捉えながら、両者のつながりを図表などを用いて整理し、自分たちが課題に対してどのように貢献できるか、意欲的に話し合うことができたか。	グループ協議（フードバンクはなぜ必要か） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.食料問題に対する様々な取り組み	54	欧米や日本でみられる食品ロスの背景と、食品ロスを減らすための取り組みについての現状を理解できたか。	安全な水やトイレへのアクセスが実現していない地域がある理由について、地理的観点から思考できたか。	各国の実情に即した理想のトイレのあり方について、多面的に話し合い、提言することができたか。	発表（世界のトイレの安全性と対策）	
		【SDGs】 安全で多様なトイレを利用できる社会	55	世界の安全な水やトイレへのアクセスの現状について、写真や主題図から現状を認識することができたか。				
	生活圏の諸課題	5 居住・都市問題	1.都市の成立と発展	56	世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。	都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。	世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え、都市問題の事例をもとに多角的、多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。	発表（都市の過密化の事例とその対策を提案） 自己評価・振り返りシート 調査
			2.都市への人口集中と問題	57	人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。	人口集中と都市問題の発生、途上国と先進国の都市問題を通じ、人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し、SDGsの目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。	途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に、国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。	
3.都市の成熟と再開発			58					
1 日本の自然環境と防災		【SDGs】 移民・難民と地域が共存する社会	59	世界のどのような地域で紛争が発生し、難民が受け入れられているか、写真や主題図をもとに把握できたか。	世界で紛争が絶えない背景と、移民・難民の受け入れに伴う課題について、地理的観点から思考できたか。	移民や難民との共生のあり方について、多面的に話し合い、提言することができたか。	発表（移民・難民との共生）	
		1.世界からみた日本の地形の特色	60	日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。	日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。	自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。	グループ協議（身近な地域の災害予測とその避難行動） 自己評価・振り返りシート 調査	
		2.世界からみた日本の気候の特色	61	日本列島における自然災害について具体的な事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組みや課題を探究できたか。	日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。	GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。		
		3.地震・津波と防災	62	地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。	自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。	災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。		
2 生活圏の諸課題と地域調査		4.火山の噴火と防災	63					
		5.風水害と防災	64					
		6.都市型災害と防災	65					
アクティビティ④ 身近な地域の災害リスクに備えよう。	7.地域防災と復興	65	インターネット上の電子地図などを活用し、防災対策を検討する技能を身につける。	防災に必要な地理情報を収集し、その資料をもとに回避行動を考察できたか。	意欲的に地理情報を収集し、避難行動を検討できたか。	グループ協議（防災シミュレーション）		
	導入：地理の力で地域の課題にチャレンジしよう。	66	地域的な課題についての調査法を身につけることができたか。	調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できたか。	身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できたか。	発表（身近な地域の課題とまちづくりプラン） 自己評価・振り返りシート 調査		
	2.地域調査① パーチャルとリアルでの景観観察	67	統計資料を収集し、それを主題図に表現する方法を身につけたか。	得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想できたか。	主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表できたか。			
3.地域調査② 現地での聞き取り調査とまとめ	68	調査結果を主題図などとともにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。						
	69							
アクティビティ⑤ 地域調査の結果を発信しよう				70	地域調査の結果を発表する方法を理解できたか。	主題図や写真などの資料を用いて考察したことを他者に説明できたか。	根拠となる資料を提示して他者に対してわかりやすく説明できたか。	

	観 点	内 容 の 特 徴
選 択 容 度 の 程 度	学習指導要領の 教科の目標に 沿った内容編成 必修科目として 基本・基礎的な 知識・技能の習得	- 全ての高校生が履修する地理総合として、教科の目標を達成し、地理歴史科学習の基礎となる知識・技能を過不足なく学ぶことができるよう、全体が編成されている。 - 日本の領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島といった領土に関する課題について適切に取り上げるとともに、海洋国家としての日本の位置付けを理解できるように配慮されている。 - 日本の自然環境の特色と自然災害について体系的に記述するとともに、教科書を通して身につけた地理的思考力・判断力をもとに、地域の課題について自分なりの解決策を表現できるよう、工夫されている。
組 織 ・ 配 列 ・ 分 量	内容の構成・ 配列の適正 学習意欲を 高める構成	- 一つの主題が、「学習のテーマ」「本文」「まとめと考察」という統一した流れで、見開きごとに完結する構成になっており、基礎的な知識が精選して掲載されている。 - 学習指導要領の項目に沿って、標準的な授業時数で完結するように構成されており、基礎から段階的に知識・技能を習得することができるよう、配慮されている。 - 中学社会科の地理的分野で学習したことを踏まえ、知識・技能の両面で学習内容を発展・深化させた構成になっており、中高接続への配慮がなされている。 - 第3章「世界各地の生活文化」では、四つの観点から10の事例を選択できるようになっており、多様性のある世界の生活文化について、幅広い観点から学習できるように配慮されている。
工 指 表 指 導 記 夫 導 記 に 対 表 配 慮 現 す 及 び	用語や解説の 取り上げ方 図や写真の 取り上げ方 指導資料や デジタル教 材の充実	- アニメ聖地や各国料理のレシピを地図学習の題材として取り上げたり、生徒の関心を引きつけるテーマのコラムや豆知識を掲載したりして、学習意欲を高めるための配慮がなされている。 - 平易な表現で本文を記載するとともに、重要用語を太字で示し、関連箇所への参照ページを明記している。用語も精選され、用語解説を欄外に記載するなどの工夫がなされている。 - 二次元コードで動画や資料、関連ウェブサイトへのリンクを掲載するとともに、見開きごとに調査の手がかりとなる「情報源」を掲載しており、生徒の自学自習に対応している。 - 生徒用のデジタル教科書や準拠版ワークブック、教師用の指導書やICTライブラリなど、周辺教材が整備されており、教科書との組み合わせでより効果的に指導することができる。
の 印 配 刷 慮 造 ・ 本 上	ユニバーサル デザインへ配慮 環境への配慮と 印刷の鮮明さ	- カラーユニバーサルデザイン（CUD）に配慮した色づかいであり、可読性の高いUDフォントを使用しているため、多くの生徒にとって読みやすい紙面になっている。 - 植物油インクや再生紙を使用しており、地球環境や限りある資源に配慮し、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献している。 - 発色がよく鉛筆やペンで書き込みのしやすい用紙を使用しており、写真や図版も解像度が高く鮮明で、製本も堅牢である。
総合所見		- 基礎的な知識・技能が過不足なく身につくとともに、多様な世界の生活文化を多面的・多角的に理解できるよう、配列に工夫がなされている。 - 地図・GISの作業や探究学習を通して思考力・判断力が段階的に身につくとともに、諸課題に対する解決策を考え、自分なりに表現する力が身につくように構成されている。 2単位の必修科目として内容・程度・分量のバランスが取られており、指導しやすく、生徒自らも理解しやすい教科書となっている。

令和8(2026)年度用 山川出版社 教科書・地図帳 ラインナップ

二宮書店発行の教科書・地図帳は、令和8年度より山川出版社発行に変更となります。

改訂



81 山川 地総081-901

地理総合 改訂版

世界に学び地域へつなぐ

B5判・262頁
基礎から大学入試まで
豊富な題材と鮮度ある情報
地理探究へつながる教科書

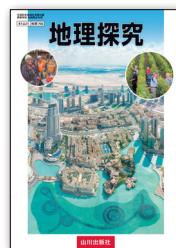
改訂



81 山川 地総081-902

わたしたちの 地理総合 改訂版

AB判・230頁
さらにアクティブに
主題型授業を
リードする教科書



81 山川 地探703

地理探究

B5判・326頁
大学入学共通テストに対応
詳しい内容で理解を深める
地理探究の決定版

改訂



81 山川

地図 081-901

詳解現代地図 改訂版

AB判・182頁
350タイトル以上の
豊富な主題図

改訂



81 山川

地図081-902

基本地図帳 改訂版

A4判・166頁
ビジュアル中心で
大きな地図



81 山川

地図704

高等地図帳

B5判・166頁
収録数の多い
世界地図と
日本地図

81 山川

地図707

コンパクト 地理総合 地図



AB変形判・
182頁
新しい判型で
地理総合に
対応した地図

改訂 された地理総合教科書と地図帳は、教科書番号が新しくなっています。